

期ニシテ此時期ヲ短縮スル爲ニハ亦拂曉ノ突撃ヲ有利ナリトス

第三ノ問題ハ突撃隊ノ區分ナリ縦隊ノ數ハ堡壘ノ正面幅及突撃路ノ景況ニ依テ定ムヘク突撃ハ一方面ヨリセス正面及兩側ヨリ實施シ爲シ得レハ咽喉部ニ向ヒテ一部ヲ進ムルヲ可トス突撃路狹小ニシテ逐次通過ヲ要スル場合ニ於テハ後ヨリ進ムヘキ散兵ハ火力ヲ以テ先進者ヲ援助シ次テ之ニ跟随スヘシ而シテ一旦壘内ニ闖入スルヤ敵ハ百方手段ヲ盡シテ我ヲ驅逐センコトヲ勉ムヘシ此際最モ恐ルヘキハ敵ノ咽喉部ニ在ル機關銃トス故ニ此際手榴彈及迫撃砲カ速カニ壘上ニ致サルルコトハ成效上最モ必要ナリ而シテ敵ハ尙ホ續々増加隊ヲ以テ逆襲ヲ企圖スヘシ故ニ我後援ノ速カニ到着スルコトモ亦極メテ必要ナリ

突撃隊ハ歩兵及工兵ヨリ成ル破壊班ヲ先頭トシ之ニ續行ス突撃成效セサル時ハ歩兵ハ敵ノ胸牆ヲ楯トシテ蹈ミ止マリテ後續隊ヲ待ツヘシ此際比隣ノ敵壘ヨリスル射撃ハ極メテ危険ナリ之カ制壓ハ友軍砲兵及

此方面ニ部署セラレタル歩兵ノ任トス毋斯ノ如ク論スト雖モ堅固ナル敵壘ニ對シ一回ノ突撃ヲ以テ之ヲ拔クコト能ハサルコト屢ナルヘク斯ノ如キ場合ニ於テ引續キ數次ノ突撃ヲ反覆スヘキカ又日没ヲ待ツテ決行スヘキカ敵ノ不意ニ乘シ得ヘキ機會ヲ求メテ之ヲ實行スヘキカ此際歩砲兵ハ如何ニ協同スヘキカハ學理ノ支配シ得ル範圍ニアラス指揮官ハ能ク斷シ能ク實行セサルヘカラス

第三章 防禦

第一節 一般ノ要領

凡ソ防禦ニ在リテハ其目的決戰ニアルト將タ持久戰ニアルトヲ問ハス敵狀就中其企圖ヲ速ニ察知スルコト極メテ必要ナリ之カ爲メ騎兵及航空機等ハ總テノ手段ヲ盡シテ此要求ヲ充足セサルヘカラス

而シテ決戰的勝利ヲ得ントスル防禦ニ在リテハ必ス攻撃ノ動作ヲ併セ

行ハサルヘカラス是レ決戦ノ效果ハ攻撃ニアラサレハ得ルコト能ハサレハナリ之ニ反シ防支ヲノミ目的トシ若クハ單ニ時間ノ餘裕ヲ得ントスル防禦ニアリテハ任務ノ要求ニ基キ其陣地ヲ維持スルヲ要ス

一、陣地ノ選定

防禦ニアリテハ其目的決戦ナルト持久戦ナルトヲ問ハス先ツ著眼スヘキハ地形即チ陣地ナリ然レトモ完全ナル陣地ハ到底求ムヘカラス加ルニ之ヲ選定スヘキ地區モ戰略戰術上ノ制限ヲ受ケ其範圍狹小トナリ所望ノ目的ニ合スル陣地ハ甚タ少ナキモノトス故ニ現在スル地形ニ就テ目的ニ適フ如ク確乎タル地形判斷ノ下ニ之ヲ利用スルヲ要ス唯如何ナル場合ニ於テモ左ノ諸件ハ陣地ノ性能トシテ之ヲ必要トスルモノトス

一、陣地ハ兵力ニ適應セサルヘカラス(防禦ニ於ケル戰鬪正面ノ部

参照)

二、展望自在ニシテ廣濶ナル射界ヲ有スルコト

蓋シ防禦ハ兵力劣勢ナルカ若クハ劣勢ナリト推斷スル者ノ地形ヲ利用シ火力ノ發揚ニ依リテ彼我兵力ノ均衡ヲ計リ以テ任務ノ達成ヲ企圖セントスルヨリ生スル戰鬪手段ナレハナリ

但シ時トシテ攻者ノ先頭現出スルカ若クハ其兵力分離ニ乘シ攻勢ニ轉スルコトアリ斯ル場合ニ於テハ廣濶ナル射界ハ必スシモ必要ト爲ササルカ如シト雖モ此等ハ防禦ノ假面ヲ被レル攻撃ノ變態ニシテ一般ノ防禦トハ自ラ其趣ヲ異ニスルモノトス

三、指揮容易ナルコト

四、陣地ノ内部ハ運動容易ニシテ交通自在且敵眼ニ遮蔽シアルコト

其他陣地ノ各部ニ就テ一般ニ顧慮スヘキ要件ヲ舉レハ左ノ如シ

前地[◎]

射界廣濶遠大ニシテ攻者ノ據點トナルヘキモノナク且緩傾斜ヲ以テ前方ニ降下スルヲ要ス而シテ地形敵ノ運動ヲ阻碍スル時ハ堅固ノ度ヲ増加スヘシト雖モ守者モ亦出撃困難ナルヲ免レス

側地[◎]

通過シ難キカ或ハ開豁ニシテ射撃ニ依リ敵ヲ制スルヲ要ス然レトモ後者ハ晝間ニ於テノミ其價值ヲ有スルモノニシテ夜間ニ至リテハ却テ開豁ニシテ運動ノ容易ハ敵ノ近接ニ便宜ヲ與フルモノナルニ注意スルヲ要ス

正面及側面[◎]

陣地ノ正面及側面ハ通視及應援ニ便ニシテ且歩兵線ノ後方適當ノ距離ニ良好ナル砲兵陣地ヲ存セサル可カラス單ニ防支ノミヲ主トスル防禦ニアリテハ陣地ノ正面及側面ニ超過スヘカラサル障礙

物アルヲ以テ極メテ有利ナリトスルモ守者決戦ヲ爲サントスルカ若クハ出撃ヲ企圖スル時ハ其一部ハ通過自在ナルヲ要ス

陣地ノ正面愈々堅固ナレハ敵ハ其攻撃ヲシテ益々翼側ニ向ハシムヘシ此際守者ハ翼後ニ梯隊ヲ備ヘ敵ノ側面ニ向ツテ攻勢ニ轉スルカ或ハ脅威セラレタル翼ヲ適當ニ延伸シ或ハ鉤形ヲ作りテ敵ヲ防禦スルヲ要ス

陣地ノ側面ニ據點ヲ有スル時ハ我翼ヲ依托スルニ有利ナリト雖モ展望不十分ナル地形ニ在リテハ往々危險ヲ來スヘシ

内部[◎]

陣地ノ内部ハ軍隊ノ展開配備及運動容易ニシテ而カモ敵ノ通視ヲ妨クヘキ遮蔽物ナカルヘカラス攻者ノ包圍射撃又ハ瞰制射撃ヲ受クヘキ恐アル地點或ハ戰況ニ應シテ使用スヘキ軍隊ヲ火線ニ近ク位置セシムルノ必要アル地點ハ殊ニ然リトス

陣地ノ深サ不充分ニシテ背後ニ峻坂、地障等アル時若クハ陣地内ニ通過困難ナル森林、沼澤、地障等存在スル時ハ軍隊ノ運動、軍需品ノ補給ヲ害スルコト大ナルモノトス

後地[◎]

陣地後方ノ地形狭小ニシテ且通過ニ便ナラサル時ハ軍隊ノ退却ハ甚タ困難ナルモノトス之ニ反シ後方若シ運動容易ニシテ疎林等ヲ有スル時ハ退却スル軍隊ハ早ク敵ノ有効ナル追撃射撃ヲ免レ且敵ト離隔スルニ便ナリ

退路[◎]

成ルヘク正面ト直角ナルヲ可トス若シ退路攻撃ヲ受クヘキ翼側ニ偏スル時ハ特ニ危険ナリトス故ニ此場合ニアリテハ殊ニ堅固ナル收容陣地ヲ占ムルヲ必要トス

二、陣地ノ占領

其一 陣地占領ノ掩護

陣地ヲ占メントスルヤ通常其前方ニ一部隊ヲ出シ以テ我陣地占領ヲ掩護セシム之カ爲メ敵兵遠クシテ充分ナル時間ヲ有スル時ハ單ニ騎兵ヲシテ敵狀ヲ搜索セシメ爲シ得レハ其前進ヲ遲滯セシムルヲ以テ足レリトスルモ敵ニ近キ時ハ之カ爲メ少數ノ歩兵部隊ヲ出シ一時ノ抵抗ヲ爲サシムルヲ要ス此等部隊ノ占領スヘキ陣地及配備ハ地形ト狀況ニ依リ差異アリト雖モ要ハ敵ト交戦スルニ至ルモ其影響ヲシテ直接工事ニ波及セサラシムルト又敵カ此掩護隊ヲ迂回シ工事ヲ妨害スルコトナカラシムルトヲ顧慮シ本陣地ヨリ適度ニ離隔シ各要點ニハ若干ノ監視兵ヲ配布シ主力ハ敵ノ近接容易ナル方面ニ用フルヲ可トス此部隊退却時機ノ選定ハ固ヨリ本陣地設備ノ景況ニ關スト雖モ勉メテ深ク戦闘スルコトナク輕戦ノ後退却スルヲ有利ナリトス此際我本陣地ヨリスル射撃ヲ妨害セサルコ

ト特ニ緊要ナリ

其二 地區ノ區分及配備

陣地ハ防禦ノ目的ニ應シ地形ト指揮ノ便否トヲ顧慮シテ之ヲ若干ノ地區ニ分チ各地區ニハ之ニ適應スル建制部隊ヲ配置シ地區ノ守備ヲ擔任セシム此地區ノ守備隊ハ亦自ラ其豫備隊ヲ備フルモノトス

此地區豫備隊ノ用途ハ當該地區ニ於テ生スル損傷ヲ補充シ或ハ不時ノ事變ニ應スルモノニシテ其位置ハ適時第一線ヲ應援シ得ル如ク地形ヲ利用シ成ルヘク前方ニ接近シアラサルヘカラス之カ爲要スレハ掩體ヲ設ケ又進出ヲ便ニスル爲メ所要ノ工事ヲ施スモノトス

地區ノ數及之ニ備フヘキ兵力ハ狀況ニ依リ同シカラス例ヘハ攻撃ヲ企圖スル方面又ハ射界不良ナル地區ニハ其兵力ヲ大ニシ陣地

内ノ交通困難ナル時ハ地區ノ數ヲ增加スルカ如シ此際重要ナル地區ヲ一防禦地區内ニ包含セシムルト陣地ヲ縱斷スル天然ノ障礙ハ之ヲ各區ノ分界トスルニ注意スルヲ要ス

陣地ノ各部ハ悉ク所望ノ價值ヲ有スルコト稀ナルヲ以テ適當ナル兵力ノ分配及工事ノ施設ニ依リ之ヲ補ハサルヘカラス

歩兵ノ戰鬥線ハ通常砲兵陣地ノ前方ニ設ケ敵ノ歩兵ニ對シテ我歩砲火ノ火力ヲ逞フシ同時ニ我砲兵ヲ掩護シ得ル如ク選フヲ要ス而シテ其距離ハ地形ニ依リ差異アリト雖モ平坦地ニアリテハ約五百米ヲ以テ適度トス是レ以上ノ目的ヲ達スルニ恰適ナルノミナラス友軍歩兵ニ對スル砲兵ノ超過射撃ノ關係モ亦良好ナレハナリ(詳細ハ兵器學教程若クハ將校用兵器學或ハ野戰砲兵戰術等ヲ參照スヘシ)

砲兵ハ戰場ノ大部ヲ射撃シ得ルノ外向ホ豫想スル敵ノ攻撃方向

ニ對シ十分ナル威力ヲ發揚シ得サルヘカラス之カ爲メ防禦砲兵ハ豫メ一、二ノ陣地ヲ準備シ就中分割砲兵又ハ控置砲兵ヲ巧ニ使用シ得ル如ク計畫シ敵ノ攻撃ニ方リ最モ有利ニ之ヲ使用セサルヘカラス

三、工事ノ施設

陣地ハ時間ノ許ス限り堅固ニ防禦工事ヲ施スヲ要ス而シテ工事ハ通常地區毎ニ其守備ニ任スル軍隊ノ行フヘキモノニシテ特別ノ場合ニ限リ工事實施部隊ト之カ占領部隊トヲ異ニスルモノトス例ヘハ直接敵ノ來攻ハ受ルコトナキモ將來ノ作戰ヲ顧慮シ要地ニ築城スル場合或ハ豫備隊等ヲ以テ其地區ノ工事ヲ援助セシメ又ハ豫備ノ工事ヲ實施スルカ如キ場合ニ過キサルモノトス

而シテ此等工事ヲシテ一般ノ目的ニ合スル如ク統一スルハ高級指揮官ノ任トス

敵ニ安全地域ヲ與ヘサル爲高級指揮官ハ前地ヲ地區毎ニ分割シ各地區前ノ死角ハ比隣地區互ニ之ヲ側防シ得セシムルヲ要ス

工事ハ假令必要ノ程度少ナキ方面ニ於テモ全ク之ヲ忽ニスヘカラス防禦ノ目的持久ナルニ於テ特ニ然リ又狀況ノ變化ニ際シ要スレハ既ニ築設シタル工事ヲ棄ツルコトニ躊躇スヘカラス

防禦工事ハ逐次ニ抵抗シ得ル如ク數線ニ設タルコトナク唯一個ノ陣地ヲ最モ堅固ニ構築スヘシ是レ數線ノ防禦ハ徒ラニ兵力ヲ分離シ各線ノ工事ヲ不完全ナラシムルノミナラス所謂前進陣地ノ弊害ヲ享受スレハナリ

又連續セル火線ト爲スコトナク數群ニ分テテ設クヘシ是レ一連不斷ノ陣地ハ守兵ヲ吸收スルコト多ク其工事堅固ナルニ從ヒ防禦ノ全正面ニ亘リ自ラ斷絶部ヲ設ケタルニ等シク全ク運動ノ自由ヲ拋棄シ且陣地一部ノ破綻ハ遂ニ全陣地ノ陷落ヲ誘起スレハナリ

一 集團工事ハ地區ノ兵力大ナル時ハ大隊ヲ以テ標準トス而シテ各集團工事ノ間隔及其前地ハ比隣集團ヨリ有效ニ射撃シ得ル如クスルヲ要ス之カ爲メ平坦開濶地ニアリテ最モ堅固ナル陣地ニ於ケル各集團工事ノ間隔ハ約六百米ヲ基準トス是レ中間地區ニ突入スル敵ニ對シ兩側堡壘ヨリスル射撃ハ晝間ニ於テハ各五、六百米ニ於テ極メテ有效ナリト雖モ夜間ニ於テハ小銃ノ效力三百米以内ニアラサレハ疑問ナキ能ハサルヲ以テナリ

工兵ハ雷ニ工事ヲ指導シ又ハ之ヲ援助スルノミナラス陣地中特ニ重要ナル部分ノ築設ニ任スルモノトス例ヘハ支撐點ノ編成、障礙物ノ設置、交通路ノ開設等ノ如シ(野戰築城教範參照)

陣地特ニ防禦工事ハ成ルヘク永ク敵ニ對シ蔭匿スルヲ要ス之カ爲メ各地區ヨリ前地ニ斥候ヲ派遣シ或ハ監視部隊ヲ配置シ以テ敵ノ偵察ヲ妨ルハ勿論前進陣地ノ部參照諸種ノ手段ヲ以テ地上並ニ天空ヨ

リスル目視ヲ遮ラサルヘカラス即チ假裝及遮蔽物ノ設置、地形ノ利用ヲ始メトシ胸牆其他ノ積土ハ力メテ之ヲ低下シ長キ直線部ヲ作ルコトナク緣端及稜角ハ之ヲ圓削シ且緩斜面ヲ以テ自然地ニ接合スルヲ要ス殊ニ航空機ノ偵察ニ對シテハ其蔭匿極メテ困難ナルヲ以テ爲シ得レハ工事ノ實施ハ之ヲ夜間ニ行ヒ晝間ハ假裝物ヲ以テ自然地トノ識別ヲ困難ニシ稜角ハ勉メテ之ヲ避クルヲ要ス

其他敵ヲシテ我兵力、配備ヲ誤認セシムル爲メ時トシテ僞工事ヲ設クルコトアリ此工事ハ火線ノ前後若クハ其延線中ニ設クルモノニシテ我火力ヲ以テ制シ得サルヘカラサルモ又眞陣地ト同一被彈地内ニアラシムルハ不利ナリトス近時航空機ノ進歩ハ益々其偵察ヲ容易ニシ從テ從來唱導セラレタルカ如ク單ニ菲薄ナル堆土線ヲ以テ僞工事ト爲シ眞陣地ノ觀アラシメントスルモ直ニ識別セララルルニ至リシヲ以テ僞工事ト雖モ相當大ナル土量ノ堀開ヲ要スルニ至レリ

四、守兵ヲ陣地ニ配置スルノ時機

工事完成セハ之ニ所要ノ監視兵ヲ殘置シ各部隊ハ其後方適當ノ地ニ集結シアリテ應急ノ姿勢ニ在ルモノトス而シテ守兵ヲ如何ナル時機ニ陣地ニ就カシムヘキヤハ實際上困難ナル問題ニシテ其早キニ過クル時ハ敵ニ對シ陣地ヲ暴露スルノミナラス敵狀ニ應シ配備ヲ變更スルコトモ難ク遂ニ工事ノ爲メ配備ヲ左右セラルルノ虞アリ之ニ反シ若機ニ遅ルル時ハ敵ヲシテ損害ナク我ニ近カシムルノ不利アリ而シテ其適當ナル時機ハ全陣地ニ亘リテ同シカラサルヲ以テ好機ニ投シ守兵ヲ配置スルハ一ニ各地區ニ於ケル指揮官ノ責任ナリトス之カ爲メ各指揮官ハ有ラユル手段ヲ以テ絶エス前面ノ狀況ヲ明ニシ刻々敵兵近接ノ景況ヲ了知スルコト必要ナリ

五、交通、連絡ノ設備

防禦ニアリテハ其目的持久ニアルト將タ決戰ニアルトヲ問ハス交

通、連絡ノ設備特ニ必要ナリ是レ防禦ハ其性質受働的ニシテ多クハ敵狀ニ應シ處スルノ止ムヲ得サレハナリ而シテ諸般ノ狀況ニ應シ指揮統御ヲ便ニシ各部ノ協同ヲ圓滑ナラシムルモノハ實ニ交通通信設備ノ完備ニ俟タサルヘカラス防者ノ有スル時間ノ餘裕ハ亦此等ノ設備ヲ通常完備シ得セシムルモノトス

交通、連絡ノ爲ニハ有ラユル通信法ヲ利用スヘシト雖モ野戰ニ於テハ通常電話線ヲ架設シ傳令ヲ配置シ陣地内部ニ於ケル交通路ヲ設備スルヲ以テ満足セサルヘカラサル場合多キモノトス

今一般ノ場合ニ於テ交通設備ノ爲メ防禦軍隊ノ顧慮スヘキ件ヲ舉レハ

- 一、 集合所ヨリ陣地ヘノ道路網ノ修築、標示
- 二、 陣地間ノ交通網及標示物ノ設置
- 三、 豫備陣地ニ至ル道路網ノ修築及標示

- 四、各部各隊ト交通網ノ整備
- 五、監視所、觀測所ヘノ通信、連絡ノ整備
- 六、展望哨ノ設置及之トノ連絡法
- 七、副通信法ノ整備

六、防禦戰鬪ノ經過

防禦戰鬪ノ經過ハ主トシテ敵ノ前進ニ伴フモノナルモ亦戰鬪目的ノ差異ニ依リ其經過ニ自ラ差異ナキ能ハス即チ攻勢防禦ニアリテハ苟クモ機會ヲ得ハ斷然攻勢ニ轉スヘキモノナルヲ以テ攻者ノ先頭陣地前ニ現出スルヤ直ニ攻勢ニ轉スルコトアルヘク又最近距離ニ至ル迄火力ヲ以テ敵ヲ壓倒シ次テ攻勢ニ轉スル場合モアルヘシ持久防禦ニ在リテモ其得ントスル時間ノ長短ニ依リ又ハ特種ノ目的ノ爲メ其戰鬪指導ハ種々ニ變化スヘシ然レトモ今一般防禦ニ於テ各時期ニ於ケル各兵種各部隊ノ行動ヲ詳ニセンカ爲メ最後ノ時期ニ至ル迄遂ニ

乘スヘキ機會ヲ得サル戰鬪經過ノ概要ヲ述ヘントス

防禦ニ於ケル射擊開始ノ時機ハ戰鬪ノ目的及準備シタル彈藥數ニ依リ變化スト雖モ通常敵ノ我有効射界内ニ現出スルヲ待チ開始スルモノトス是レ過早ノ射擊ハ敵ヲシテ我陣地ノ發見ヲ容易ナラシメ且多クノ彈藥ヲ消費スレハナリ然レトモ持久防禦ニアリテハ成ルヘク遠ク敵ヲ拒止セントスルヲ以テ比較的遠距離ヨリ射擊ヲ開始シ其前進ヲ遲緩セシムルコト多シ

防禦ノ戰鬪ハ先ツ砲兵ニ依リ開始セララルヲ常トス而シテ防禦ニアリテハ其射擊開始ハ高級指揮官ノ命ニ依ルヘキモノナリト雖モ射擊效力アルヲ確認シタル目標ニシテ而カモ戰術上有利ナルヘキ場合例ヘハ敵砲兵ノ陣地進入又ハ敵ノ大集團等ヲ發見セシ時ハ獨斷之ヲ射擊スルモ支障ナシ

戰鬪最初ニ於ケル防禦砲兵ノ目標ハ通常敵ノ砲兵ナリトス然レト

モ平射重砲ヲ有スル時ハ之ヲシテ其大射程ヲ利用シ敵ノ前進展開等ヲ妨害セシムルヲ可トス

攻撃歩兵前進ヲ開始セハ防者ノ砲兵就中野戰砲兵ハ主トシテ射撃ヲ之ニ指向シ極力其殺傷ニ努メ此間重砲兵ハ攻撃歩兵ヲ支援スヘキ攻者ノ砲兵ニ對シ依然其射撃ヲ繼續スルモノトス已ニシテ敵兵我小銃ノ有効射界内ニ入り茲ニ眞面目ノ戰鬪ヲ惹起スルニ至ラハ防者ノ砲兵ハ其大部(野戰砲兵及要スレハ平時重砲)ヲ擧ケテ之ヲ射撃シ步兵亦其火力殊ニ機關銃ヲ最高度ニ發揚シ以テ攻勢移轉ノ機會ヲ作爲スヘシ若砲戰間敵ノ砲兵優勢ニシテ戰鬪ヲ交ユルノ不利ヲ察知シタル時ハ防禦砲兵ハ一時軍隊指揮官ノ命ニ依リ其砲戰ヲ中止スルノ有利ナルコトアリ然レトモ敵兵決勝攻撃ノ爲メ前進スルニ於テハ全砲兵ハ別命ナクトモ直ニ出テテ毫モ敵火ヲ顧ミルコトナク要スレハ掩護物ヲモ拋棄シテ一意攻撃歩兵ヲ猛射スルモノトス此際一部タリトモ

從來ノ陣地ト異ナリタル地點ニ現出シ敵ヲ側射スル時ハ其效果大ナルモノトス

戰鬪經過中途ニ乘スヘキノ機會ナク敵兵最近距離ニ來リタル時ハ歩兵及野戰砲兵ハ勿論重砲兵モ亦全力ヲ盡シテ敵ヲ猛射震駭セシメ全線擧ケテ突出スヘキモノトス

防禦戰鬪間騎兵ハ絶エス側方前ニ在リテ敵ノ行動ヲ監視搜索シ(特ニ敵ノ迂回等ニ對シ)我翼側ヲ警戒シ爲シ得レハ展開ノ爲メ前進スル敵砲兵等ヲ奇襲シ以テ其攻撃準備ヲ遲緩セシム爾後漸次戰鬪ノ進捗ニ伴ヒ側方ニ在リテ依然搜索警戒ヲ續行シ且敵ノ漸次後方部隊ノ消滅シ敵砲兵ノ友軍歩兵線ト離隔スルニ乘シ爲シ得ル限り之ヲ脅威スルニ勉ムルモノトス大ナル騎兵部隊ニアリテハ彼我決勝ノ機ニ於テハ必要ニ應シ其決勝ニ參與スヘキモノトス

防禦戰鬪ニアリテ工兵ハ特ニ緊要ニシテ各種工事ノ施設、交通、通信

ノ設備ヲ負擔スルノミナラス戰鬪間絶エス工事ノ補修ニ勉メ敵ノ破壞セル障碍物等ノ修理ニ任スルモノトス

以上ノ如クシテ諸兵種協同ノ實ヲ發揮シ防禦戰鬪ノ效果ヲ收ムヘキモノナリト雖モ狀況遂ニ不利ニシテ敵兵我陣地内ニ突入セハ其守兵ハ最後迄奮闘スヘク此際若シ後方ニ密集部隊ヲ有スル時ハ敵ノ混亂ニ乘シ果敢ナル攻撃ヲ行ヒ以テ陣地ノ恢復ヲ計ルヘキモノトス

第二節 攻勢防禦

一、陣地

攻勢防禦ニ於テ具備スヘキ陣地ノ性能ハ堅固ナル防勢地帯ト運動容易ナル攻勢地帯ノ併有ニアリ

抑、攻勢防禦ノ利トスル所ハ地形ノ掩護、巧妙ナル工事ノ施設ニ依リ兵力ノ節約ヲ行ヒ其剩シ得タル大部ヲ以テ攻勢ヲ企圖シ此方面ニ於ケル

兵力ノ優勢ヲ占メ勝利ノ基礎ヲ確實ナラシメントスルニ外ナラス故ニ此種防禦ニ於テ其企圖ヲ實行スル爲メノ軸タルヘキ防勢地帯ニハ概シテ左ノ諸性能ヲ要求ス

一、地形堅固ニシテ敵ノ攻撃困難ナルコト

此ニ依リ我兵力ノ節約ヲ圖リ且我攻勢方面ノ勝敗未タ決セサル前其軸タルヘキ守勢方面ノ瓦解スルヲ防ク

二、地形上敵ノ包圍ヲ免レ得ルカ又ハ能ク之ニ對抗シ得ルコト

地形上敵ノ包圍ヲ免レ得ル時ハ敵ハ其一部ヲ以テ之ニ對セシメ主力ハ之ヲ自然我企圖スル決戰方面ニ使用スヘク即チ我ハ其欲スル地區ニ於テ敵主力ト決戰シ得ヘシ若地形敵ノ包圍ヲ許スガ如キニ於テハ工事其他ノ施設ヲ以テ一時能ク之ニ對抗シ得サルヘカラス然ラサレハ敵若我豫想ニ反シ該方面ニ主力ヲ用フル時ハ我主力ハ敵ノ一部ト交戰中敵ノ主力ハ早ク我守勢方面ヲ突破スルニ至ル

三、防勢地帯ハ攻勢地帯ノ側傍ニアリテ其火力ヲ以テ攻勢地帯ヲ制下シ得サルヘカラス砲兵ニ於テ特ニ然リ

是レ此種防禦ニ於ケル勝敗ノ決ハ一ニ緊リテ攻勢地帯方面ノ成敗ニ存シ之カ成効ハ單ニ總豫備隊ノ努力ニノミ俟ツコトナク守者ノ全力ヲ該方面ニ集ムルノ必要アレハナリ

四、要スレハ出撃シ得ルヲ要ス

防勢地帯ハ堅固ナルヲ欲スト雖モ之カ爲メ其正面若クハ前地ニ通過スヘカラサル地障ヲ有スルハ不利ナリトス是レ敵ハ毫モ防者ノ此方面ヨリスル出撃ヲ顧慮スルヲ要セサルヲ以テ一兵ヲモ割クコトナク全力ヲ擧ケテ我攻勢地帯ニ使用スヘク此際我守勢地區ノ部隊ハ直ニ突出抑留セント欲スルモ其行動ハ地障ニ依リ阻害セラレアルヲ以テ却テ敵ノ爲メ兵力ノ一部ヲ牽制セラレタルカ如キ奇

觀ヲ呈スレハナリ

以上ハ實ニ理想的ノ要求ナルモ前已ニ述ヘタル如ク實際ノ狀況ニアリテハ陣地ノ選定ハ各種ノ制限ヲ受ケ到底満足スヘキモノナキヲ常トス之カ爲メ攻勢防禦ニ於テモ其陣地ニ對スル最小限ノ要求ヲ陣地ノ正面ニ大ナル障礙物ヲ有セサルヲ度トスルニ止ムルコトアルヲ忘ルヘカラス

二、總豫備隊

一、任務

攻勢防禦ニ於ケル防者兵力ノ重心ハ總豫備隊ニシテ其企圖スル攻勢ハ實ニ此總豫備隊ノ活用ニ俟タサルヘカラス即チ其任務ハ決勝ニアリ彼ノ地區守備隊ヲ増援シ若クハ戰線ヲ受働的ニ擴張スルカ如キハ大ナル誤用ニシテ眞ニ止ムヲ得サル場合ニ於テノミ僅ニ其一部ヲ使用スルニ過キサルモノトス此ヲ以テ防者苟クモ斷乎タル攻勢ヲ企

圖シ其勝利ノ基礎ヲ確實ニ爲サント欲セハ陣地ノ選定、工事ノ施設等百般ノ手段ヲ盡シテ地區ノ兵力ヲ節約シ總豫備隊ノ増大ヲ圖ラサルヘカラス

二、兵力編組

總豫備隊ノ任務以上ノ如シトセハ其兵力ハ可及の大ナルヲ要ス此種防禦ニ於テ未タ總豫備隊ノ過大ナリシヲ聞カサルナリ其他攻勢ノ威力ヲ大ナラシメント欲セハ精神的結合ノ強固ナルヲ要ス從テ建制ヲ破リ若クハ集成ノ部隊ヲ以テ充當スルハ不利ニシテ勉メテ完全ナル建制ノ部隊ヲ以テ任スルヲ可ナリトス

三、位置

總豫備隊ノ位置ハ其兵力、戰況及地形ニ從ヒ好機ニ投シ容易ニ攻勢ニ轉シ得ヘキ地ニ選フヲ要ス此位置ハ通常陣地ノ翼側後ニ於テ求メ得ラルルモノトス然ル時ハ攻者ノ外翼又ハ側面ヲ包圍シ若クハ敵ノ

包圍ヲ防止シ得ヘシ而シテ其兵力大ナルニ從ヒ愈、遠ク側方ニ位置セシメサルヘカラス是レ其展開正面大ナルノミナラス攻勢移轉ニ際シ上記ノ目的ヲ達成スニ便ナレハナリ

之ニ反シ正面ノ中央後ニ占領セシムル時ハ之ヲ側方ニ移動セシムルノ必要ニ際シ多クノ時間ヲ費シ且ツ概ネ敵火ノ下ニ運動セサルヘカラサルノ不利アリ此害ヲ避シカ爲メ充分之ヲ遠隔セシムル時ハ好機ニ投シ使用シ難キニ至ルヘシ唯例外トシテ正面狹小ニシテ敵狀未タ明カナラサル時ハ中央後ニ置クモ可ナルコトアルヘシ

而シテ此豫備隊ハ戰鬪當初ニ於テハ成ルヘク其位置ヲ秘匿スルヲ必要トシ從テ第一線ヲ距ルルコト大ナリト雖モ戰況漸次進捗シ將ニ攻勢ニ移ラントスルカ如キニ至ラハ第一線ニ漸次接近シテ號令一下機ヲ失セス展開前進シ得サルヘカラス即チ戰況ニ依リ漸次其位置ヲ移動スヘキコト一般ノ豫備隊ニ大差ナキモノトス其他地形モ亦其位

置ニ關係ヲ有スルコト前述ノ如クニシテ例ヘハ地形開豁ニシテ戰鬥ノ經過比較的大ナル時ハ遠ク後方ニ位置スルモ可ナルモ射界狭小ニシテ直ニ決戰ヲ惹起スルカ如キ地形ニ於テハ勉メテ第一線ニ接近シ要スレハ豫メ展開ノ準備ヲ爲シアルヲ要スルカ如シ

三、攻勢移轉

其一 意義

攻勢移轉ノ意義ニ關シテハ諸說區々ニシテ未タ一定ノ見解ナキカ如ク即チ駐軍又ハ防禦ノ姿勢ニアル軍隊敵ノ前進ニ際シ之ヲ迎撃スル爲メ前進スルヲ攻撃前進ト云謂決戰ノ目的ヲ有スル防者カ好機ニ投シ攻撃ニ轉スルヲ眞ノ攻勢移轉ナリトシ其他逆襲ハ持久防禦ニノミ限定スル等各異ノ名稱各種ノ定義ヲ附スルモノアリト雖モ我操典ノ所論ニ從ヘハ強テ攻勢移轉ト攻撃前進若クハ逆襲等ト區別スルノ必要ナク概シテ決戰防禦ニ於テ最初ヨリ計畫セル出撃ヲ攻勢移轉ト

謂ヒ決戰持久何レノ防禦ヲ問ハス最後ノ時機ニ突出スルヲ逆襲ト稱スルカ如シ

其二 時機

攻勢移轉ノ時機ハ大別シテ左ノ如ク見解シ得ヘシ

(1)、敵ノ過失ヲ發見シタル時 例ヘハ攻者不用意ニ其先頭ヲ防者ノ陣地前ニ現出セシムルカ又ハ著シク其兵力ヲ分離シタル時若クハ大迂回ヲ實施セシ時等ノ如シ

(2)、守兵ノ火力ニ依リ攻者ノ攻撃頓挫シタル時

(3)、戰鬥經過中ニ乘スヘキ機會ナク敵兵最近距離ニ來リタル時

其他 一、攻者防者ニ接近シ自己砲兵ノ射撃ヲ妨クル時 二、攻者地形上極メテ不利ノ位置ニアル場合 三、増援ヲ得タル場合等ヲ羅列スルモノアルモ前二者ハ極メテ稀有ノコトニシテ後者ハ其増援ヲ如何ニ使用スヘキヤハ一ニ狀況任務ニ關シ特ニ攻勢移轉ノ研究

ニ供スルノ要ナシ

抑、攻勢移轉ノ困難ナルハ其時機少ナキニアラス之ヲ發見スルノ困難ナルニ存ス之カ爲メ漫然其好機ノ到來ヲ待ツカ如キハ不可ナルモノニシテ宜シク全般ノ狀況特ニ地形ヲ判斷シ乘スヘキ機會ヲ豫定シ尙配備ニ依リ攻者ヲシテ此機會ヲ露出セサルヲ得サルニ至ラシムル手段ヲ講スルコト必要ナリ

其三 方法^⑥

出撃ニ際シ敵ノ全線ニ向テ攻撃スルヤ其主力ヲ攻撃スルヤ將又一部ヲ突破シ爾後主力ニ向フヤ又其方向ハ敵ノ翼側ニ向フヘキヤ或ハ其正面ニ向フヤハ其時ノ狀況ニ依ルモノニシテ出撃時機ノ異ナルニ應シ其方法モ亦自ラ差異アルモノトス即チ

敵ノ過失ニ乘シ機動的ニ出撃セントスルカ如キ場合ニ於テハ多クハ其方法遭遇戰ノ要領ニ準スルモノトス

守兵ノ射撃ニ依リ敵ノ攻撃頓挫シタル場合ニ乘スルモノニアリテハ兵力ノ重心ハ總豫備隊ニ存スルモノニシテ高級指揮官ハ直ニ之ヲ使用シ又要スレハ同時ニ陣地ニアル守兵ノ全部若クハ一部ニ攻撃前進ノ命ヲ下ス此際陣地ニ残りシ守兵ハ射撃ノ效力ヲ最高度ニ發揚シ以テ其正面ノ敵ヲシテ他ヲ顧ミルノ逞ナカラシムヘク機關銃及我砲兵ハ要スレハ掩護物ヲモ拋棄シ攻勢地帯ヲ猛射シ攻撃前進ヲ最モ有効ニ援助スルヲ要ス

而シテ此出撃ハ之ヲ陣地ノ正面ヨリスヘキカ一側ヨリスヘキカハ敢テ問フ所ニアラスト雖モ之ヲ正面ヨリスルモノハ敵ノ過失アルカ又ハ地形ニ依リ敵ノ正面過廣ニ失シ自ラ中央突破ノ利益ヲ享受シ得ヘキ場合ニ限リ其效果大ナルヘシト雖モ其他ニアリテハ現今ノ火器ニ對シ其動作困難ニシテ却テ敵ノ包圍ニ陥ルモノトス其他兵力ノ増大スルニ從ヒ展開區域狹小ナルノ弊アリ故ニ成ル可ク翼側ヨリ行フ

ヲ有利トス然ル時ハ敵ノ未タ大ナル後方部隊ヲ有スル時ハ格別然ラサルニ於テハ敵ヲ有效ニ包圍スルヲ得ヘシ

戰鬪經過中遂ニ乘スヘキノ機ナク敵兵最近距離ニ來リタル時ハ有ラン限リノ火器ヲ使用シ敵ヲ震駭セシメ全線舉テ突出スヘシ此機ニ於ケル諸兵ノ行動ハ既ニ防禦戰鬪經過ノ部ニ於テ述ヘシヲ以テ茲ニ之ヲ省略ス

之ヲ要スルニ攻勢移轉奏功ノ要訣ハ節シ得タル最大ノ兵力ヲ以テ好機ニ投スルヲ要シ其動作ハ猛烈果敢ナルニアリ而シテ能ク此機ヲ捉ヘ得ルハ一ニ高級指揮官ノ頭腦ニ存スト雖モ亦各級指揮官適時其方面ノ狀況ヲ逐一報告シ之ニ依リテ絶エス全般ノ狀況ヲ明ニスルニアラサレハ能ハサルモノトス

第三節 持久防禦

一、持久防禦ノ種類

持久防禦ノ目的ハ時間若クハ地域ノ餘裕ヲ得ルニアリ故ニ決戰ヲ避クルヲ要ス敵ノ爲メ餘儀ナクセラレテ決戰ヲ爲シタルモノハ已ニ持久戰ノ性狀ヲ脱シタルモノトス然レトモ好機アレハ攻勢ヲ採テ對者ヨリ爾後ノ活動力ヲ奪フハ固ヨリ否ム所ニアラサルナリ是レ敵ヲ壓倒殲滅スルハ任務達成上凡テノ場合ニ於テ有利ナレハナリ

此ヲ以テ持久防禦ヲ目的ニ依リ區分シ其戰鬪法ヲ考察スル時ハ概シテ左ノ如ク大別スルヲ得ヘシ

一、時間ヲ得レハ地域ヲ失フモ可ナリ然ル時ハ狀況地域之ヲ許セハ歩々防戦シ得

二、時間ト地域ノ領有ヲ必要トス、更ニ別テ

甲、一時的持久

乙、死守的防禦

以上ノ中一ハ主トシテ戰略的ニ使用セララルモノニシテ日露戰ニ於テ露軍カ其兵力ヲ遼陽附近ニ集中セントスルヤ東部兵團ヲシテ九連城様子嶺浪子山等ノ各線ニ據ラシメ以テ時間ノ餘裕ヲ得ントシタルカ如キ其例ナリ故ヲ以テ此種ノ防禦法ニ依リ目的ヲ達セントセハ大ナル地域ヲ有セサルヘカラス彼小地域ニ於ケル戰術的歩々防禦ノ如キハ其實施困難ナルノミナラス兵力分離ノ害ヲ受ケ又ハ前方陣地ノ敗退ニ依リ後方陣地ヲモ拋棄スルノ止ムナキニ至ルコト多キモノトス何レニ在リテモ此種防禦ニ於テハ志氣ノ沮喪ヲ免レサルモノトス

二、陣地

持久防禦ニ在リテハ其目的主トシテ時間ノ餘裕ヲ得ルニアルヲ以テ其陣地ノ各部ニ具備スヘキ性能モ亦自ラ左ノ要求ヲ充タササルヘカラス

一、前地及側地

地幅兵力ニ適應シ其射界展望共ニ廣濶ニシテ制高ノ利ヲ占メ地形敵ノ運動ヲ阻害スルヲ可トス

二、正面及側面

正面及側面ハ通視及應援ニ便ナルヲ要ス而シテ正面有效射程内ニ障碍物ヲ控ヘ特ニ陣地ノ側面ハ通過スヘカラサル土地又ハ強固ナル支撐點ニ托シ且容易ニ迂回セラレサルヲ要ス然レトモ敵ノ大迂回ハ以テ我得ントスル時間ノ餘裕ヲ與ヘ得ル時ハ決シテ嫌忌スヘキコトニアラス

三、陣地ノ内部

陣地ノ内部ニハ少クモ敵ノ通視ヲ妨クヘキ遮蔽物ナカルヘカラス攻者ノ包圍射擊又ハ瞰制射擊ヲ受クヘキ恐アル地點或ハ戰況ニ應シテ使用スヘキ軍隊ヲ火線ニ近ク位置セシムルノ必要アル地點ニ於テ特ニ然リ

然レトモ之カ爲メ我通視、展望、運動ヲ妨害セサルヲ要ス
 四、後地^①及退路^②

此種防禦ニアリテハ退却ニ便ナルコト特ニ必要ナリトス之カ爲
 メ其後地ハ地形平坦ニシテ疎林ヲ有シ退路亦正面ト直角ニシテ一
 翼ニ偏シ若クハ斜交スル等ノ如キコトナキヲ可トス是レ退却スル
 軍隊ノ早ク敵ノ追撃射撃ヲ免レ且敵ト離脱センカ爲メナリ

之ヲ要スルニ此種ノ陣地ニアリテハ逆襲ノ不便ハ忍フヘキモ之カ最小
 限ノ要求ハ必ス決戦ヲ惹起セサルニアリ故ニ正面及側面ニ障礙物ヲ有セ
 ス加フルニ敵兵此部ニ蔭蔽シテ接近シ得ルカ如キ陣地ハ全ク不適當ナリ
 トス是レ敵兵已ニ展開セハ最早適時ニ戦闘ヲ脱スルコト難ク遂ニ決戦ヲ
 惹起スルニ至レハナリ

晝間ニ於テハ平坦開濶地モ亦攻者ノ爲メ大障礙ニシテ火器ノ威力愈増
 大スルニ從ヒ其價值益大ナリト雖モ夜間又ハ濃霧ニ際スル時ハ全ク其價
 値ヲ失シ却テ攻者ノ爲メ運動ノ容易ナルノ利ヲ與フルニ過キス故ニ持久
 ノ目的ヲ有スル防者斯ノ如キ陣地ヲ占領シタル時ハ遅クモ翌拂曉敵ノ攻
 撃ヲ受ケ而カモ通常直ニ決戦ヲ強ヒラルルヲ覺悟セサルヘカラス故ニ爲
 シ得レハ敵ノ此企圖ヲ防止スル爲メ前進陣地ヲ採用スルヲ可トス

以上ハ純然タル持久ノ目的ヲ有スル軍隊ノ爲メ採ルヘキ陣地ナリト雖
 モ一時陣地ノ占領ニ依リ戦闘ヲ持久シ後斷乎タル攻勢ニ轉スルノ企圖ヲ
 有スルカ如キ狀況ニ於テハ必スシモ以上ノ如キ絕對堅固ナル陣地ヲ占領
 セス寧ロ却テ攻勢ニ便ナルノ地形ヲ選マサルヘカラサルコトアルヘシ例
 ヘハ茲ニ一支隊アリ決戦ノ目的ヲ有スル本隊ノ來著迄一時某地點ヲ占領
 セントスルニ於テ其目的勿論一時的持久戦ニ相違ナシト雖モ過度ニ堅固
 ナル陣地ヲ占領スル時ハ一時能ク敵ヲ防止シ自己ハ則チ安全ナリト雖モ
 將來ニ於ケル本隊ノ決戦企圖ハ全ク遂行スルニ由ナキニ至ルヘシ故ニ斯
 ノ如キ場合ニ於テハ先ツ抵抗時間ノ長短ヲ顧慮シ此期間内確實ニ敵ヲ防

止シ且比較的主力ノ攻勢ヲ妨ケサル陣地ヲ求メサルヘカラス。

三、部署配備

持久防禦ニ於ケル兵力ノ部署及配備ハ目的、時間及地形ニ依リ千差萬別ニシテ概定的ニ之ヲ定ムルハ大ナル誤ナリトス例ヘハ時間ノ餘裕ヲ得ントスルモノニアリテモ極メテ短少時間ニシテ満足シ得ル時又ハ地形之ニ適スル時ハ僅ニ砲兵ノミニテ其目的ヲ達成シ得ヘク所要時間ノ漸ク大ナルニ從ヒ其全部ヲ展開スルニ至ルヘシ又同シク持久防禦ニアリテモ所謂死守の防禦ニアリテハ努メテ第一線ノ兵力ヲ節約シ有力ナル總豫備隊ヲ擁スルヲ必要トスルカ如シ(總豫備隊ノ大ナルヲ望ムノ一事ハ攻勢防禦ニ同一ナルモ其使用目的ハ全ク異ナレリトス)

四、持久防禦ニ於ケル豫備隊

一、用途

持久防禦ニ於ケル豫備隊ノ用途ハ概シテ次ノ如シ

第一線ノ擴張

第一線ノ補充、増加

不時ノ事變ニ應ス

退却ノ收容等

二、兵力編組

豫備隊ノ目的用途已ニ以上ノ如クナルヲ以テ其兵力ハ通常大ナルヲ要セス蓋シ第一線部隊ハ自己ノ兵力ヲ以テ戦闘ヲ完結シ得ヘキモノナレハナリ加之其編組モ亦混成ニテ可ナリ是レ統一シテ攻勢動作ヲ行フニアラスシテ第一線ノ補充増加等ノ爲メ多クハ分割シテ使用セラルルモノナレハナリ然レトモ特別ノ場合所謂死守の防禦ノ際ニアリテハ其豫備隊ノ大ナルヲ要スルコト前已ニ述ヘタルカ如シ

三、位置

持久防禦ニ於ケル豫備隊ハ彼攻勢防禦ノ如ク豫メ使用方面ヲ一定

シ得ルモノニアラスシテ多クハ敵狀ニ依リ決セラルルヲ常トスルヲ以テ其位置亦此要求ニ合セサルヘカラス即チ

甲、何レノ方面ニモ容易且迅速ニ到達シ得ルコト之カ爲メニハ通常中央後ヲ可トス

乙、豫メ使用ノ公算多キ方面明カナル時ハ該方面ニ近ク位置セシム

第四節 前進陣地

前進陣地トハ特種ノ目的ヲ以テ本陣地ノ前方ニ設クル陣地ニシテ其目的如何ニ依リ之カ陣地ノ選定、兵力ノ部署等ヲ異ニスルモノトス而シテ一部兵學者間ニ於テ此種陣地ト前進哨トニ關シ大ニ論議スル者アリト雖モ此等ハ特ニ掲ケテ之ヲ論スルノ價値ナク苟クモ某目的ヲ以テ本陣地ノ前方ニ設クル陣地ハ是レ則チ一ノ前進陣地ニシテ強ヒテ兩者ニ

差異ヲ附セントセハ前者ハ殆ト一連ノ防禦線ヲ成形スルニ反シ後者ハ概ネ孤立シタル部隊ヲ以テ個々一地ヲ占領セシムルノ差アルノミ

第一 前進陣地ノ種別

前進陣地ハ其目的ニ依リ概シテ左ノ如ク種別シ得ヘシ

- 一、敵ノ前進ヲ遲滞セシムル爲メニ設クル陣地
- 二、本陣地ヲ蔭蔽スル爲メニ設クル陣地
- 三、本陣地ト誤認セシムル爲メニ設クル陣地
- 四、本陣地ニ敵ノ容易ニ接近スルヲ妨害スル爲メニ設クル陣地

其他特種ノ目的ヲ以テ本陣地前ニ設クル陣地

此他陣地占領ノ掩護ノ目的ヲ以テ出ス部隊ノ占ムヘキ陣地ヲモ此種陣地ニ數フル者アリト雖モ是レ其主旨ニ於テ稍趣ヲ異ニスルモノアリ即チ此部隊ハ狀況ニ依リ騎兵ノ一部ニテ可ナルコトアリ又歩兵部隊ヲ用フル

コトアリト雖モ既ニ一度本陣地ノ設備終ル時ハ敵ノ來攻如何ニ係ハラヌ本陣地内ニ引キ上クヘキモノニシテ他ノ前進陣地トハ自ラ其趣ヲ異ニスルモノトス

第二 前進陣地ノ利害

前進陣地ノ利ハ前項已ニ之ヲ述ヘタリ然ラハ前進陣地ノ弊害トハ如何之ニ關シテハ世上幾多ノ所説アリト雖モ要ハ左ノ數項ニ歸セン

- 一、本陣地ヨリ愈、遠ク前方ニアルニ從ヒ益、優勢ナル敵ノ歩、砲兵ノ包圍射撃ヲ受ク(是レ本陣地ヨリ火力ヲ以テ適時援助シ得サレハナリ)
- 二、前進陣地ヲ占領スルモノハ早晚陣地ニ向ヒ退却セサルヘカラス是レ本陣地ノ守兵ニ對シ志氣上ノ打撃ヲ與フルコト大ナリ
- 三、前進陣地ニ惹起スル戰鬥ハ動、モスレハ最高級指揮官ノ決心ニ動搖ヲ來シ遂ニ意圖外ノ戰鬥ヲ惹起スルニ至ル

四、退却時機ノ選定困難ナリ即チ充分其任務ヲ盡サント欲セハ退却ノ時期ヲ遲緩シ優勢ナル敵ノ爲メ殲滅セラレ之ニ反シ退却早キニ失スレハ任務ノ達成困難トナル

五、勇敢ナル敵ノ爲メ退却スル部隊ニ屬シ本陣地ニ進入セラルル恐アリ

以上ハ概括的ニ前進陣地ノ弊ヲ列舉シタルモノナルモ元來前進陣地ノ占領ニハ各特種ノ目的アリテ存ス故ニ其目的ニ依リ陣地ノ占領及部隊ノ行動ヲ律スル時ハ敢テ以上ノ弊ニ陥ルコト尠キモノトス之カ爲メ卓越セル指揮官ノ任命、適當ナル兵力編組、適切ナル任務ノ附與ヲ特ニ緊要トス今上記ノ各項ニ關シ聊カ解説ヲ試ミントス

一、ノ弊害ハ畢竟退却時機ノ選定ニ關スルモノニシテ靱軟ナル抵抗ヲ爲スニ於テハ固ヨリ優勢ナル敵ノ爲メ包圍攻撃ヲ受ルニ至ルヘシト雖モ其退却時機ニシテ至當ナランカ必スシモ常ニ敵ノ包圍火中ニ投

セラルルモノニアラス而シテ此時機ノ看破ハ一ニ當該指揮官ノ判斷ニ委セサルヘカラス何トナレハ此場合ニ於テハ本陣地ヲ離隔スルコト大ナルヲ以テ適時高級指揮官ノ命ヲ待ツヲ得サレハナリ

二、ノ志氣ノ沮喪ノ如キハ前進部隊ノ退却ノ狀況及軍隊ノ精粗ニ依ルモノニシテ若シ前進部隊ニ決戦ヲ強ヒラレ敗退ノ極途ニ本陣地ニ悲惨ノ退却ヲ爲スニ於テハ精練ナル軍隊ニアラサレハ冷靜以テ之ヲ迎フルカ如キハ殆ト期待スヘカラスト雖モ敵ノ拂曉攻撃等ニ際シ其展開ヲ終ルヤ直ニ退却スルカ如キニ於テハ決シテ敗退ニ陥ルコトナク從テ志氣ノ沮喪ヲ招クコトナカルヘシ

三、ノ不利ノ如キハ是レ一ニ最高級指揮官ノ意志ノ堅否ニ因ルモノニシテ苟クモ戰鬪ノ目的確立シ之カ遂行ノ一手段トシテ前進陣地ヲ設クルニ方リ其部隊ノ戰鬪ノ渦中ニ主力ヲ投スルカ如キハ國軍ノ運命ヲ負擔スル主將ノ斷シテ爲シ得サル所ナリトス若夫レ斯ル過失ヲ犯

スカ如キ意志薄弱ノ主將ニアリテハ如何ニ學理上最良ノ手段ヲ盡スモ到底最後ノ敗北ヲ免レサルヘク前進陣地ノ設否ノ如キハ問フ所ニアラサルナリ

四、ハ則チ前進陣地ノ最モ不利トスル所ニシテ事實亦多クハ此害ヲ受ルモノトス然レトモ現今火器ノ進歩兵數ノ増加並ニ築城ノ發達ハ攻者ノ攻撃準備ニ多大ノ時間ヲ要シ又一方前進陣地ト本陣地トノ偵察及識別ハ頗ル困難ヲ感シ其極攻者ハ先ツ敵ノ前進陣地ニ對シ多クハ拂曉攻撃ヲ企圖スルニ至ルヘシ從テ前進陣地ノ部隊ハ敵ノ猛烈ナル晝間攻撃ヲ受ルコトナク敵ノ我本陣地ニ對スル攻撃ヲ遲緩セシムルト同時ニ拂曉敵ノ展開前進ニ移ルヤ直ニ退却シ得ヘシ故ニ從來唱導セラルル不利ハ漸次消滅スルニ至レリ

五、ノ如キハ現今火器ノ進歩セル時代ニ於テハ謂フヘクシテ行フヘカラサルモノニシテ會戰ニ於ケル兵力ノ大ナルニ從ヒ益然リ

第三 各種前進陣地ヲ設クヘキ場合 陣地ノ選定及配備

其一 敵ノ前進ヲ遲滯セシムル爲メニ設クル陣地

此種陣地ハ要塞戰ニ於テハ甚タ明瞭ナリ旅順ノ攻圍ヲ遲緩セシメンカ爲メ「ステッセル」ノ企圖セル南山附近ノ陣地ハ勿論其他我攻圍線ノ完成スル迄敵ノ抵抗セル諸陣地ハ皆之ニ屬ス

野戰ニ於テモ戰略戰術上共ニ設ケラルル場合多キモノニシテ彼露軍ノ主力ヲ遼陽附近ニ集中スルニ際シ之カ時間ノ餘裕ヲ得ンカ爲メ一支隊ヲ鴨綠江畔及大石橋附近ニ派遣シタルハ戰略上ノ前進陣地ニ屬シ撫順方面ノ本陣地ニ對スル清河城附近ノ陣地ハ所謂戰術上ノモノニ屬ス其他本軍ノ企圖ヲ容易ナラシメ或ハ友軍ノ來著ヲ待ツ等ノ爲メ主力ノ前方ニアリテ行動スル支隊若シ陣地ニ據ル時ハ悉ク此種ノ前進陣地ナ

リトス

此ノ如キ目的ヲ以テ派遣スル支隊ハ其本陣地ト遠隔スルニ從ヒ一時獨立シテ動作シ得ル如ク兵力編組ヲ決定セサルヘカラス若此部隊強大ナル時ハ更ニ其前方ニ諸種ノ前進陣地ヲ設クルコトアリ

戰術上此種ノ前進陣地ヲ設クルヲ要スル時ハ地形堅固ニシテ能ク持久ノ目的ヲ達シ得ル陣地ナラサルヘカラス何等ノ障礙ナキ地區ニ於テ此等ノ目的ヲ達セントスルモ全ク不可能ナリトス此際砲兵ヲ以テ主トシテ目的ヲ達成シ得ハ頗ル妙ナリトス

其二 本陣地ヲ蔭蔽スル爲メニ設クル陣地

此種前進陣地ハ本陣地ニ對スル敵ノ偵察ヲ困難ナラシムル目的ヲ有スルモノニシテ本陣地ノ前方ノ地形如何ヲ問ハス常ニ之ヲ用フルヲ有利トス殊ニ山地ニアリテハ特ニ有利ニシテ若本陣地ヲ瞰望シ得ラルヘキ高地等ノ存スル時ハ當初ヨリ一部ヲ以テ占領セシメ置クヲ要ス

此陣地ニ在リテハ兵力ノ如キモ極メテ小數ノ監視部隊ヲ一連ニ配布スレハ足ルルモノニシテ之ニ砲兵ヲ附スルカ如キハ例外トス

其三 本陣地ト誤認セシムル爲メニ設クル陣地

此陣地ハ敵ヲシテ過早ニ展開セシメ以テ多クノ時間ヲ徒費セシメ或ハ其意向ヲモ察知スルヲ得ヘク尙本陣地ヲ攻撃スルニ方リ更ニ其計畫ヲ變更セサルヘカラサルカ如キ時ニアリテモ其大部ハ既ニ展開シアルヘキカ故ニ隨意ニ新計畫ヲ選擇スルコト難ク防者ハ之ニ乗スルノ機ヲ捉ヘ得ルヤモ計ラレサル等理想上頗ル妙ナリト雖モ斯ノ如キ地形ノ現存スル場合ハ極メテ稀ニシテ此陣地若本陣地ト遠隔シアル時ハ敵ハ時間ヲ徒費スルノ不利ヲ免ルル能ハサルモ更ニ本陣地ニ對スル攻撃計畫ヲ精密規定スルヲ得ヘク若本陣地ト甚シク接近シアル時ハ同時ニ本陣地ヲ危殆ナラシムルニ至ルヘン即チ何レノ場合ニアリテモ前述諸種ノ弊害ヲ免レサルヘキヲ以テ此ノ如キ二個ノ陣地設備ニ要スル時間ト勞

カトヲ單ニ本陣地ノミニ用フルノ勝レルニ如カス然レトモ地形良好ニシテ特ニ本陣地ノ前方適當ナル距離ニ存シ充分本陣地タルヘキノ價値アル時ハ之ヲ利用シ大ニ攻者ノ判斷ヲ錯亂シ其攻撃ヲ遲緩シ得ヘシ

其四 本陣地ニ容易ニ敵ノ接近スルヲ妨害スル爲メニ設クル陣地

此陣地ハ本陣地ノ前方ニアル死角又ハ遮蔽界ヲ減少スル爲メ本陣地ヨリ側防又ハ射撃シ得サル獨立部落、森林、丘阜、高地脚等ヲ制スヘキ地點ヲ一部ヲ以テ占領セシムルモノニシテ所謂前進哨ナルモノ即チ之ナリ南山ニ對スル金州城、旅順ニ於ケル大孤山及赤坂山等ハ之ニ屬スルモノトス

右ノ外陣地ノ前方ニ於テ敵ノ爲メ極メテ良好ナル砲兵陣地等ヲ最初ヨリ敵ニ利用セシメサルカ爲メ特ニ一部ヲ以テ之ヲ占領スル陣地或ハ地形上本陣地ノ攻撃方向ト相反スル方向ヨリ攻撃セサルヘカラサルカ

如キ地區ヲ占領シ本陣地ニ對スル敵ノ攻撃ヲ遲緩セシムル爲メニスル陣地等特種ノ目的ヲ有スル前進陣地アルモ大同小異ナルヲ以テ之ヲ省略ス

之ヲ要スルニ前進陣地ハ其範圍頗ル大ニシテ確乎タル目的ノ爲ニハ之ヲ必要トスルコト前已ニ述ヘタル如クニシテ地形ニ依リテハ寧ロ好シテ之ヲ利用シ得ヘキモノトス

第五節 側面陣地

側面陣地ハ戰略、戰術上ノ二種ニ區分セララルモノニシテ戰略上ノ側面陣地トハ敵ノ行進路ニ對シ側方ヨリ其行動ヲ掣肘スルモノヲ謂フ即チ攻者ノ前進路ニ對シ之ヲ遮斷セントスル防者ハ其側方ニ陣地ヲ占メテ之ニ正面ス然ル時ハ攻者ハ防者ニ對シ之ヲ拘束スルニ足ル兵力ヲ分割スルニアラサレハ前進ヲ繼續スルコト能ハス而カモ尙背後連絡線ニ危殆ヲ感ヒ

シムヘシ否ラサレハ全然行進路ヲ變換スルカ若クハ其前進ヲ斷念シ守者ニ向ヒ攻撃セサルヘカラス之ヲ攻撃スルニ方リテモ防者ノ正面前ニ達スル前既ニ之ヲ認識スル時ハ之ヲ側方ヨリ攻撃シ得ヘキモ然ラサレハ我背後連絡線又ハ自然退却線ヲ變換スルニアラサレハ攻撃甚タ危殆ナリ從テ攻者ノ時間ヲ費スコト多大ナルヲ免レス然レトモ防者モ亦背後連絡線ヲ變換スルノ不利アリ故ニ防者カ斯ノ如キ側面陣地ノ利益ヲ享受スルハ多クハ自國ニ於テ作戰スル場合ニ限ルモノトス防者中央陣ニ在ルニ際シ攻者カ其側方ヲ通過セントスルニ臨ミ此側面ニ向ヒ斷然攻勢ニ轉スル時ハ一種ノ戰略的側面陣地ト稱シ得ヘキモノトス一八六六年伊太利方面ノ作戰ニ於テ埃將アルブレヒト親王カ好機ニ投シベロナ附近ノ集中地ヨリ前進シミンチヲ左岸グストツツア附近一帶ノ丘阜地ニ側面展開ヲ行ヒ以テ伊軍ノミンチヲ渡河後四角要塞内ニ前進セントスルヲ迎撃シタルカ如キハ一ノ戰略的側面陣地タルヲ失ハス(此際埃軍ハ豫メ其退路ヲ北方チロ)

ル山地方向ニ變換セリ)

戰術的側面陣地トハ如何以下主トシテ之ニ關シ詳述スル所アラントス

第一 戰術的側面陣地ノ意義

側面陣地ノ意義定義ニ關シ兵家ノ説ク所各若干ノ差異アリテ等シカラ
ス即チ

- 一、側面陣地トハ敵ノ作戰方向ニ沿ヒ之ト併行シテ占ムル陣地ナリ
 - 二、側面陣地トハ敵カ其連絡線ヲ暴露スルコトナク之ニ沿フテ前進シ
能ハサル陣地ナリ
 - 三、側面陣地トハ敵カ正面變換ヲ行ヒ其連絡線ヲ側面ニ有スルニアラ
サレハ攻撃シ能ハサル陣地ナリ
 - 四、側面陣地トハ敵ノ追撃カ元來ノ目標ヨリ他方ニ變スルノ陣地ナリ
- 以上各種ノ説ヲ考查スルニ 一、ハ併行ノ意義不明ニシテ陣地正面ト敵

ノ行進方向トノ角度ニ關スルカ如キ稍外形ノ稱呼ニ止マルノ觀アリ抑側
面陣地ニハ之ニ固有ノ價值アリテ存シ從テ之ニ伴フ性能上ノ要件ヲ具備
セサルヘカラス角度ノ如キハ論スルノ限リニアラサルモノトス 二、ハ其
意義不充分ニシテ反言スレハ敵ハ其連絡線ノ暴露ヲ恐ルルカ故ニ其元來
ノ方向ヨリ我側面ニ向ヒ攻撃スルコトトナル是レ側面陣地根本ノ成立ト
抵觸スルモノトス 四、ハ狀況ノ如何ニ依リ普通ノ正面ヲ有スル陣地ニ於
テモ起リ得ルモノニシテ之ヲ以テ何等側面陣地ノ定義ト爲スヲ得ス 三、
ハ略其意ヲ盡セリト雖モ尙充分ナリト謂フヲ得ス即チ若敵ニシテ其連絡
線ヲ側方新方面ニ移シ得ル時ハ側面陣地ト謂ノヲ得サルモノノ如ク是レ
餘リニ狹義タルノ嫌ヒアリ

予ハ左ノ如ク謂ントス

側面陣地トハ「敵ハ必ス我正面ヲ攻撃セサルヘカラサル陣地ニシテ其
攻撃ハ元來ノ行進方向ヲ著シク偏移スルニアラスンハ能ハサル陣地ナリ」

第二 側面陣地ニ具備スヘキ性能

側面陣地ノ意義已ニ前述ノ如シ之カ爲メ此種陣地ハ左ノ性能ヲ具備セサルヘカラス

- 一、敵ノ進路ハ我陣地ヨリスル火制下ニアルコト 是レ敵カ遠方ニ於テ諸準備ヲ整ヘ又ハ遠ク迂回シ若クハ依然其行進ヲ繼續スルコトナカラシメンカ爲メナリ
- 二、敵方ノ側面ニ通過スヘカラサル地障ニ依リ掩護セララルルカ若クハ堅固ナル支撐點ヲ有シ以テ敵ヲシテ其正面ヲ以テ我陣地ノ側面ヲ攻撃シ若クハ背後連絡線ヲ脅威セラレサルノミナラス尙延伸セル火力ニ依リ有效ナル射撃ヲ被ルコトナク爲シ得レハ此翼側方面ヨリ敵ノ我陣地内區ニ向フ偵察ヲ免レ得ルヲ要ス
- 三、出撃容易ナルコト 決戦ヲ企圖スル防者ニ於テ特ニ必要ニシテ敵

ノ不利ナル側面展開ニ乘シ尙爲シ得レハ敵ヲ從前ノ退路外ニ壓迫シ勝利ノ效果ヲ擴大スルノ利アリ然レトモ後衛ノ如キ全ク攻勢ニ轉スルノ企圖ナク専ラ時間ノ餘裕ヲ得ントスルモノニアリテハ必スシモ必須ノ要件ニアラス

- 四、我退路及背後連絡線ハ敵ニ脅威セララルルノ恐ナキコト

第三 側面陣地ノ利害

側面陣地ニシテ以上ノ性能ヲ具備スルニ於テハ實ニ左ノ利益ヲ有スルモノトス

- 一、敵ハ此陣地ヲ攻撃スルカ爲メ其背後連絡線ヲ移動スルカ若クハ之ヲ安全ナラシムル處置ヲ必要トス之カ爲ニハ莫大ナル時間ヲ要シ延ヒテ其攻撃ヲ遅緩ス特殊ノ場合ニアリテハ其變換全ク不可能ニシテ爲メニ攻撃ヲ斷念セシムルニ至ルモノトス敵ノ此不利ハ兵力ノ大ナ

ルニ從ヒ愈増大スルモノトス
二、攻者ハ守者ノ火制下ニ於テ不利ナル側面展開ヲ行ハサルヘカラス
是レ守者ノ最モ乘スヘキ機會ナリトス若攻者ニシテ此不利ヲ避ケン
トセハ夜暗ヲ利用シテ行動セサルヘカラス從テ守者ニ時間ノ餘裕ヲ
與フ

三、攻者ハ攻撃奏功ノ最良手段タル包圍ノ實行困難ナリ是レ行進方向
ニ近キ守者ノ側面ハ通過スヘカラサル地障又ハ堅固ノ支撐點ヲ形成
スルヲ以テ勢ヒ相反スル敵翼ヲ包圍セサルヘカラス是レ側面展開ヲ
爲スヘキ攻者ニ取リテハ殆ト不可能事ニシテ假令之ヲ企圖スルモ此
種陣地ニ於ケル防者ノ總豫備隊ハ通常此翼側ニ位置スルヲ以テ單ニ
正面ヲ延長スルニ過キサルコト多キモノトス
四、攻者一度失敗セハ全ク從來ノ退路外ニ壓迫セラレ成效スルモ元來
ノ行進方向ヲ變移シ其行動ヲ遲緩スルノ不利ヲ免レス

故ニ防者ハ其目的決戰ニアルト又ハ持久ニアルトヲ問ハス之ヲ採用シ
テ有利ナリト雖モ其實際ニ於テ利用シ得ラレサルハ實ニ左ノ不利ヲ有ス
レハナリ

一、地形側面陣地ノ性能ヲ具備スルモノ少シ
二、我退路及背後連絡線ヲ變セサルヘカラス是レ容易ニ實行シ得ヘカ
ラス
故ヲ以テ側面陣地ノ實際ニ利用セラルルハ一機動的動作ヲ許ス小部隊
ニシテ何レニモ運動シ得ルカ如キ又ハ二内地作戰ノ如ク後方ノ連絡自在
ニシテ敵ニ掣肘セラルルコトナキカ如キ特別ノ場合ニ限ラルルモノトス
而シテ前者ノ場合ニ於テハ其效果ハ決シテ大ナルモノニアラス何トナレ
ハ我ニ對スル敵モ亦小ナルカ故ニ退路變換困難ナラス要スレハ之ヲ變ス
ルコトナクシテ攻撃シ來レハナリ

第四 決戦若クハ持久ノ目的ヲ以テスル 側面陣地ノ占領

側面陣地ハ決戦並ニ持久共ニ採用セラレルモノトス
 決戦ノ目的ヲ以テ此種陣地ヲ占領スル時ハ其兵力ノ重點成ル可ク大ナルヲ可トス^ヲ依托セサル翼側ニ置キ敵ノ側面展開ニ乗スルハ勿論苟モ乘スヘキノ機會アラハ直ニ攻勢ニ轉スルヲ要シ一度敵ニシテ陣地正面前ニ攻撃シ來ルニ於テハ成ル可ク其外翼ヲ包圍スル如ク攻勢ニ轉スルヲ要ス
 持久ノ目的ヲ有スル場合ニ於テハ其效果又大ナルモノニシテ例ヘハ主力ノ隘路進出ヲ掩護スル目的ヲ以テ先遣セラレタル部隊ノ如キ此陣地ノ利用ニ依リ能ク時間ノ餘裕ヲ得ルノミナラス友軍ヲシテ隘路前ニ充分ナル行動ノ餘地ヲ得セシメ且有利ノ場合ニ於テハ展開セル敵ノ側面ニ迫ラシムルヲ得又失敗ニ際シテモ隘路口ヲ閉塞セサルノ利アリ其他退却戰等

ニ方リテモ此種陣地ノ占領ニ依リ敵ノ追撃ヲ遲緩セシメ且退却方向ヲ不明ナラシムルヲ得

附 準備陣

一、準備陣ノ定義

準備陣トハ情況不明ナル爲メ我ヨリ進出スヘキカ將タ防禦スヘキカ若クハ退却スヘキカハ一ニ敵狀ニ依テノミ決セラルヘキ場合ニ於テ或ハ既ニ攻守何レニカ決心セルモ其兵力ヲ使用スヘキ方向若クハ地點尙ホ未タ決定シ得サル場合ニ於テ軍隊ノ一時取ルヘキ姿勢ヲ謂フ
 抑對敵動作ハ其任務ヲ實行スルニ方リ敵狀ニヨリテ攻撃スルカ防禦スルカ前進スルカ退却スルカニ歸スヘシ而シテ其前進ハ果シテ何レニ向フヘキカ何レノ地點ニ於テ防禦スヘキカ等必ス何等カ之ヲ然ラシムヘキ準備アルヘシ若シ妄リニ軍隊ノ行動ヲ律スル時ハ之ヲ妄動ト謂ハ

サルヲ得ス唯時ノ狀況ニ依リ其標準ハ不明廣漠ヨリ漸次決定的トナリ
遂ニ確然タル斷案ノ下ニ理由アル決心ヲ爲スヘキ機會ニ接スルモノト
ス故ニ決心スヘカラサル時機ニ決心セサルハ不決心ニアラスシテ一ノ
決心ナリ從テ一定ノ決心ヲ爲スヘキ時機ヲ待ツノ間軍隊ヲ近キ將來ニ
起ル好機ニ應シ得ル如ク動作ノ自由ヲ確保シ準備ノ姿勢ニ在ルハ至當
ノコトニ屬ス然レトモ其決スヘキ時機ニ決セス斷スヘキ時ニ斷セス徒
ラニ時機ヲ失スルハ是レ眞ノ遲疑ニシテ統帥上最モ忌ム所ナリトス

二、準備陣ニ在ル場合ノ態勢

準備陣ト雖モ前已ニ述フルカ如ク狀況ニ依リ其程度ニ自ラ差異アル
ヲ以テ其態勢モ亦千遍一律ノモノニアラス要ハ好機ニ投シ其企圖ヲ遂
行シ得ル如ク動作ノ自由ヲ保持シ在ルニ在リ之カ爲メ通常左ノ處置ヲ
必要トス

一、騎兵、航空機等有ラエル搜索機關ヲ利用シ敵ニ關スル狀報ヲ集蒐

スルコト

- 二、主力ハ諸般ノ狀況ニ應シ得ヘキ位置及態勢ニ集結シ置クヲ要ス
- 三、要スレハ一部ヲ以テ主要ナル道路若クハ渡河點等ヲ監視セシメ
且必要ナル工事ヲ豫メ實施ス
- 四、要スレハ砲兵ノ一部ヲ陣地ニ就カシム
- 五、主力ト搜索及警戒部隊間ニハ密接ナル通信連絡ヲ保持セシム

三、準備陣ヲ取ル場合ノ數例

例 其一

左ノ如キ狀況ニ於テハ支隊ハ先ツ厚木町附近ニ準備陣ヲ占ムルヲ
要ス是レ荏田及八王子兩方面ノ敵ノ關係上何レカ一方ニ全力ヲ以テ
攻撃ニ前進スル時敵ノ一部荏田又ハ八王子カ防勢ニ立チ其友軍ノ來
著ヲ待ツ時ハ我支隊ハ攻撃未タ奏功セサルニ先チ其背後ヲ襲ハルル
ノ恐アリ若シ又一部ヲ以テ八王子方面ノ敵ニ對セシメ主力ヲ以テ荏

田方向ノ敵ヲ攻撃セントセハ前者若シ優勢ナル時ハ又直ニ我主力ノ側背ハ危険ヲ感スルニ至ルヘク又荏田方面ノ敵ニ對シ側背掩護ニ充分ナル兵力ヲ分割シ其餘ヲ以テ八王子ノ敵ニ向ハンカ該敵ニシテ優勢ナル時ハ主力ノ戦闘ニ敗ヲ招クニ至ルヘシ故ニ斯ル狀況ニ於テハ先ツ厚木町附近ニ準備陣ヲ取り極力八王子方向ノ敵狀ヲ搜索シ爾後ノ決心ヲ爲スヲ要ス



狀況 一、成ルヘク廣ク相模平地ヲ領有シ後續部隊ノ來者ヲ待ツヘキ

任務ヲ有スルA支隊(混成一旅團)ハ西方ヨリ前進シ厚木町ニ宿營ス
 二、敵ハ東方及北方ヨリ前進シ來リ同日夜荏田及八王子ニ宿營ス

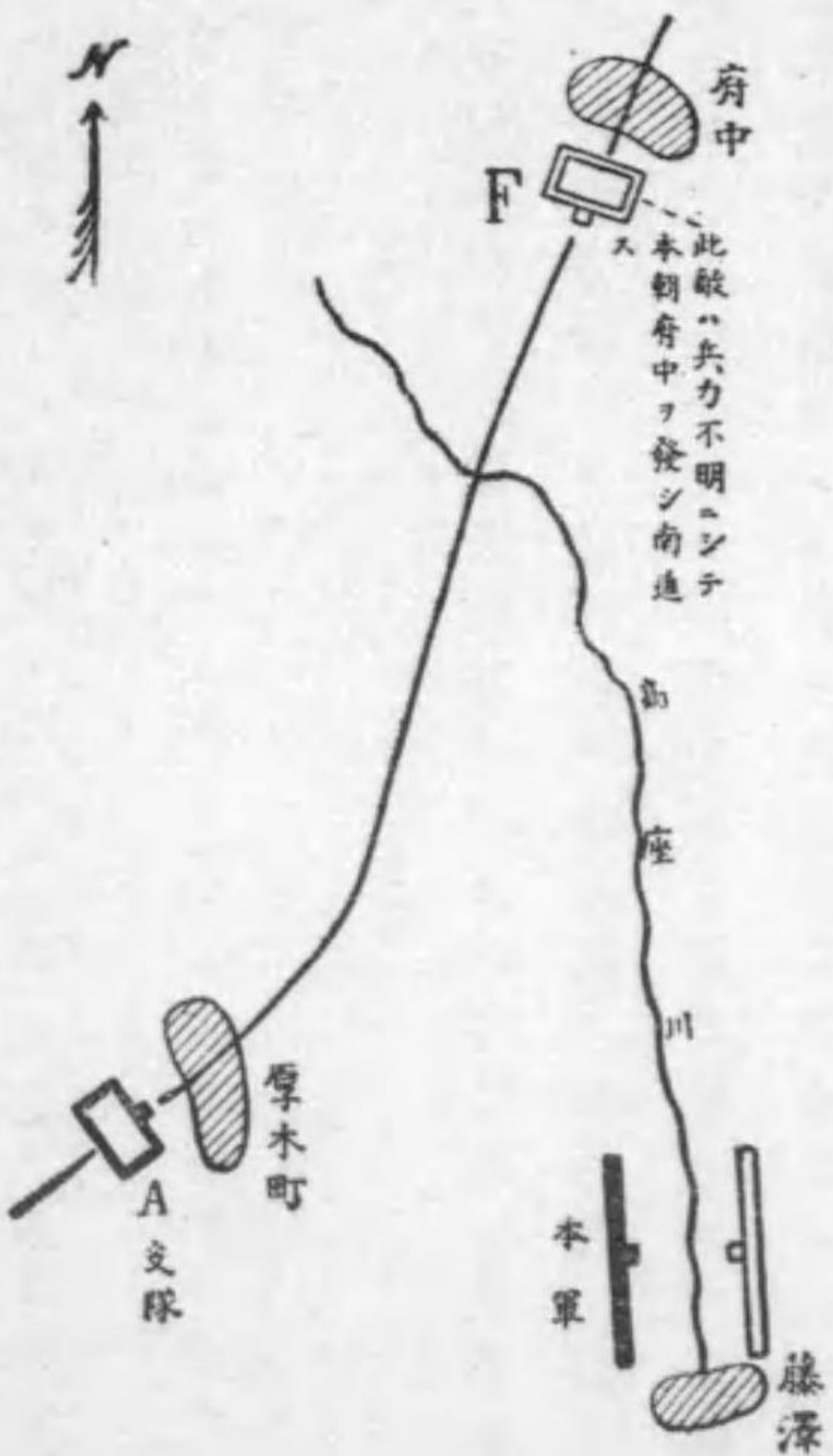
例 其二

左ノ如キ狀況ニ於テ支隊若任務ニ基キ藤澤方面ニ依然前進センカ距離ノ關係上府中方面ヨリ進出スル敵ノ爲メ直ニ我側面ヲ攻撃セラ
 ルルニ至ルヘシ之ニ反シ先ツ府中方面ノ敵ヲ擊破スル目的ヲ以テ捷
 路府中—厚木道ヲ前進センカ敵ハ高座川左岸地區ヲ直路本軍ニ至ル
 ヘク我ハ空ヲ衝クノ愚ヲ爲スニ至ルヘシ此際敵ニシテ其増援ノ到達
 ヲ機トシ決戰ヲ開始スル時ハ我支隊ハ遂ニ本戰ニ何等效果ヲ及ホス
 コトナクシテ徒ニ兵力分離ノ過ヲ犯セシニ過キサコトトナルヘシ
 又府中方面ノ敵極メテ優勢ナルニ於テハ支隊ハ當初ノ任務ヲ變シ
 軍翼側トノ關係位置上一時陣地ヲ占領シテ主力ノ側背ヲ掩護スルノ

必要ヲ生スルニ至ルヘシ即チ本狀況ノ如キハ單ニ前進方向ノ決定シ得サルノミナラス攻守何レニモ決シ得サル場合ナリトス

狀況

- 一、東西兩軍ハ藤澤附近ニ於テ相對ス
- 二、敵本軍ノ右側ヲ成ルヘク北方ヨリ脅威スヘキ任務ヲ有スル西軍A支隊ハ午前八時厚木町ニ達ス此時ニ於ケル狀況左ノ如シ



第四章 追撃及退却

第一節 追撃

第一 追撃ノ要訣及一般ノ要領

追撃ノ目的ハ敵ヲ殲滅スルニアリ從テ其要訣ハ敵ヲシテ退却動作ヲ中止シ再ヒ我ニ向ヒ決戦ヲ爲スノ止ムヲ得サルニ至ラシムルニ在リ之カ爲メニハ追撃射撃ノ終ルヤ直ニ各部隊ハ戰術的追撃展開追撃ニ移リ敵ノ收容部隊若クハ後衛等ニ衝突シタル時ハ躊躇スルコトナク猛烈果敢ニ攻撃ヲ實施シ以テ敵ニ時間及動作ノ自由ヲ得セシメサルト同時ニ之ヲ迂回シテ敵ノ側面又ハ背後ニ迫リ以テ敵ヲシテ其退却ヲ繼續スルコト能ハス我挑戰ニ應スルノ餘儀ナキニ至ラシムルヲ要ス斯クシテ尙ホ敵ヲ逸スルニ於テハ爾後ノ縱隊追撃ニ於テモ地形特ニ道路ヲ利用シ數縱隊トナリテ追

撃シ若シ敵ノ後衛等カ一時陣地ヲ占領シ我前進ヲ遲滞セシムル場合ニ於テハ本道外ノ諸縱隊ハ此戰鬪ニ參加スルコトナク更ニ後方ニ目標ヲ選擇シテ敵本隊ノ側面ニ衝突シ之ヲ戰鬪ニ誘致スルヲ要ス

第二 追撃ノ必要ト之ヲ阻害スル諸因

一、追撃ノ必要

我操典追撃ノ部ニ曰ク「凡ソ戰勝後ニ於ケル一般ノ狀態ハ動モスレハ現況ニ眩惑シテ半途ノ成效ニ甘ンシ往々果敢ナル追撃ヲ躊躇シ功ヲ一篋ニ缺クニ至ルコト多シ故ニ各級指揮官ハ敵兵退走セハ直ニ猛烈ナル追撃ヲ始メ之ヲ窮追シ敵ヲ殲滅シテ戰勝ノ効果ヲ完ウスルコトヲ勉ムヘシト

實ニ敵ヲ撃退シタルハ勝利ノ半ハナリ之ヲ完全ナラシメ其美果ヲ收メントセハ一ニ追撃ニ俟タサルヘカラス追撃ヲ斷行セサルモノハ是レ

自ラ戰勝ノ大部ヲ放棄スルモノニシテ宋襄ノ仁之ヨリ大ナルハナシ凡ソ攻撃ハ勝利ヲ得ヘキ唯一ノ手段ナリ故ニ防禦ニアリテモ決戰的勝利ヲ得ント欲セハ必ス攻撃ノ動作ヲ併セ行ハサルヘカラス而シテ攻撃ニ依リテ得タル戰勝ノ効果ハ之ニ繼續スル猛烈果敢ナル追撃ニ依リテ始メテ獲得セラルヘキモノトス何トナレハ戰鬪終局迄ニ於ケル攻防兩者ノ損害ハ前者ニ大ニシテ之カ賠償ハ實ニ追撃ニ依テノミ得ラルヘキモノナレハナリ

退却ニ於ケル志氣ノ沮喪ハ其敗退タルト隨意退却タルトヲ問ハス實ニ甚シキモノニシテ彼ノ日露戰役ニ於ケル日本軍ノ追撃ハ古今未曾有ノ緩慢ナリシニ係ハラス露軍志氣ノ沮喪ハ至大ナルモノアリ彼奉天戰ノ退却時ニ於ケル我砲發ノ一聲我一騎兵ノ出現否其風評スラ直ニ露ノ輻重縱列等ヲ潰走セシメタルヲ觀ハ思半ハニ過クルモノアラン故ニ勝者ハ萬難ヲ排シテ其追撃ヲ續行セサルヘカラス若夫レ諸種ノ關係上(後

節ニ詳述ス。追撃ヲ怠ラシカ敵ハ再ヒ隊伍ヲ整頓シ志氣疲勞ノ回復ヲ計リ必要ノ補充ヲ得テ其勢力ヲ増加シ遂ニ戰勢ヲ挽回スルニ至ルヘシ果シテ然ラハ攻者ハ再ヒ多大ノ犠牲ヲ拂フニアラサレハ決戦ノ目的ヲ達シ得サルノミナラス戰闘中ニ得タル著大ノ損傷ハ如何ニシテ之カ賠償ヲ得ントスルヤ

獨逸高等帥兵ノ原則ニ曰ク「勝利赫々タル戰闘ノ後モ猶豫セス追撃ヲ實行セサルヘカラス各軍團長ハ之カ爲メ心身ヲ捧クルノ義務ヲ有スヘシ單ニ第一線ノ軍隊並ニ騎兵ノ指揮官ノミナラス各將校ハ之ニ協同シ且其境遇内ニ於テ爲シ得ヘキ全力ヲ盡スヘキモノトス追撃ヲ等閑ニ附シタル者ハ再ヒ集合スヘキ敵ヲ更ニ攻撃スル爲メ拂フヘキ新犠牲ニ對シ重大ナル責ヲ負ハサルヘカラス愈々早く愈々繼續シテ追撃ヲ開始スルニ從ヒ其効果ハ益々顯然タルモノナリ」ト此主義ヲ以テ訓練セラレタル獨軍ノ精銳ハ最近ニ於ケル歐洲大戰ノ初頭

ニ其異彩ヲ放チ八月初旬開戦未タ數日ナラスシテ白國要塞ヲ攻撃シ爾後破竹ノ勢ヲ以テ白軍ヲ撃破シ次テ同月下旬(二十二日ヨリ)ニ至リ強大ナル佛軍前衛ト「モンヌ」シヤルロア「スモア」河畔ニ會戦シ激戦ノ後之ヲ突破シテ追撃ニ次クニ大追撃ヲ以テシ九月初旬ニハ遂ニ佛國政府ヲシテ其首都ヲ移轉シ野戰軍ノ大部ヲ擧ケテ新防禦線タル「ベルダン」巴里間ノ既定陣地ニ退却スルノ止ムナキニ至ラシメタリ之ヲ彼日露戰役ニ於ケル我軍ノ追撃ニ對比セハ其感果シテ如何

二、追撃ヲ阻害スル諸因

追撃ノ必要夫斯ノ如シ而シテ古今幾多ノ戰史上ニ赫々ノ追撃ヲ爲シタル例極メテ少ナキハ其原因果シテ如何以下此等ノ諸因ニ關シ聊カ講究スル所アラントス

一、戰勝後ノ心理狀態ト追撃難

夫レ戰闘ハ人命ニ對シ最大ノ危險事ナリ從テ精神、體力ノ使用盡

痺ヲ極度ニ要求ス而カモ彈丸雨飛ノ下ニアリテハ精神異常ニ緊張シ自ラ其危險ヲ忘却シテ平然危地ニ進入スルモ一度敵ノ抵抗止ミ我勝利ニ歸スルヤ忽焉トシテ夢ヨリ醒メタル如ク茲ニ氣力弛緩シテ從來ノ疲勞一時ニ發シ一面戰勝ノ歡喜ニ眩惑シ同時ニ悲慘ナル幾多戰友ノ身上ニ想到シ遂ニ第二ノ奮闘ト犠牲トヲ再ヒ必要トスルニ思至ラスシテ空シク我前面ニ敗走シツツアル敵ヲ見ツツ現場ニ停止スルニ至ルモノトス惡戰苦闘數日ニ涉リ終日終夜敵ノ堅陣ヲ攻撃シ瘡痍ヲ包ンテ夜ヲ徹シ辛ク之ヲ奪取シ得タルカ如キ狀況ニ於テハ益々然リトス故ニ各級指揮官ハ冷靜氷ノ如ク其間一片ノ情義心ヲ起スコトナク部下軍隊ノ疲勞困憊ニハ盲聾トナリテ無情ヲ忍ヒツツ一意鞭撻督勵シテ最後ノ一人ニ至ル迄追撃ヲ斷行スルヲ要ス若夫レ然ラスシテ徒ラニ部下ノ現状ニ眩惑セラレ果敢ナル追撃ヲ躊躇スルカ如キハ全ク愚婦ノ愛ノミ真ニ部下兵力ヲ愛惜スル

モノニアラサルナリ何トナレハ追撃ノ遲緩ハ直後ニ部下ニ第二ノ苦闘犠牲ヲ要求スルモノナレハナリ

二、新銳部隊ノ缺乏ト追撃難

凡ソ戰勝ヲ期スル爲ニハ一兵ノ多キヲ要求シ最後ノ一兵ヲモ賂シテ其榮冠ヲ得ントスルニ努ム故ニ極端ニ兵力ノ差アラサル限リ僅少ナル優勢ノ如キハ到底兵ニ過剩ヲ生スルコトナシ此ヲ以テ戰闘場裡ノ兵力ハ悉ク使用セララルモノト思ハサルヘカラス彼日露戰役ニ於テ我各軍ノ追撃絶無ナリシハ主トシテ茲ニ基因セスンハアラス

追撃ノ原則トシテ諸書ニ「追撃ハ新銳ノ部隊ヲ以テ猛烈ニ實施セサルヘカラス」ト然レトモ追撃ノ爲メ新銳ノ部隊ヲ使用シ得ルハ全ク一ノ理想ニシテ到底吾人ハ之ヲ將來ノ戰場ニ期待シ得ヘカラス若夫レ戰闘終局ノ時期ニ於テ尙ホ一ノ新銳部隊アランカ戰闘ニ加

ハラスシテ他隊ノ苦闘シテ得タル戦勝ノ歡喜ヲ何スレソ傍觀シ得ヘキヤ必ス其指揮官ハ自ラ追撃ノ衝ニ當リ他隊ト同様勝利ニ於ケル榮譽ノ一部ヲ享受センコトヲ努ムヘク其部下軍隊モ亦他隊ノ勝利ヲ見テ慢然タルヲ得ス此ニ於テ上下擧テ追撃ノ衝ニ當ランコトヲ希ヒ高級指揮官亦斷乎トシテ之ヲ使用スルニ至ルヘシ然ルニ戰鬪ハ兩軍ノ決戦ニ於テハ上記ノ如ク最後ノ一兵ヲ賭シタルノ後大勢如何トモスヘカラサルニ至リ始メテ其勝敗ヲ決スルモノナレハ此機ニ至リテハ勝者ト雖モ其死傷莫大ノ數ニ達シ唯僅ニ隊伍混亂シ秩序紊亂疲勞困憊ノ極ニ達セル軍隊ノ生存スルアルノミ故ニ追撃ハ新銳部隊ヲ以テスルカ如キハ實際ニ於テ行フヘカラサルコトニシテ勢ヒ其戰鬪ニ從事セル軍隊ニ強壓ヲ加ヘ之ヲ鞭撻シテ行ハサルヘカラサルコト多キモノトス是レ追撃ノ困難ナル所以ノ二ナリトス

三、補給ノ困難ト追撃難

追撃ノ効果ヲシテ著大ナラシメント欲セハ軍隊ノ機動力大ナルヲ要ス即チ後方補給遺憾ナキヲ要求スルモノナリ如何ニ精神ヲ以テ追撃セント欲スルモ軍隊ノ生存及戰鬪ニ必要ナル軍需品ノ缺乏セルニ於テハ到底其目的ヲ達スルコト能ハサルヘシ

今時ノ戰鬪ニ於テハ其運用スル兵團ノ大ト火器ノ進歩トハ其消費彈藥ヲシテ驚クヘキ巨額ノ數ニ上ラシムルモノニシテ如何ニ後方ニ於ケル準備ニ遺憾ナキモ其運搬機能ニシテ完備セザランカ其補充ハ機宜ヲ失スルニ至ルヘシ而シテ歐洲ノ如キ交通至便ノ土地ニ於テハ大ナル困難ナシト雖モ吾人ノ豫想戰場ノ如キニ於テハ決シテ容易ナルモノニアラス糧食ニ於テモ亦然リ乃チ追撃スル軍隊隨所隨意ニ地方物質ニ依リ得ルカ如キ狀況ニ於テハ支障ナシト雖モ一ニ後方追送ニ依ラサルヘカラサルカ如キ狀況ニ於テハ給養ノ

爲メニ其前進ヲ阻止セララルルニ至ルモノトス

然レトモ兵站ノ施設ハ野戰軍ノ行動ニ隨從スルヲ本則トス故ニ軍隊ハ一意當面ノ敵ヲ窮追スルニ勉メ兵站ハ萬難ヲ排シテ補給ヲ養フ圓滑ナラシムルニ努メサルヘカラス

四、火器ノ進歩ト追撃難

近時火器ノ進歩ハ正面ノ戰鬪ニ勃強ノ性質ヲ附與シ能ク少數ノ部隊ヲ以テ優勢ノ敵ニ對シ頑強ノ抵抗ヲ爲シ得ルモノトス之ヲ以テ下級指揮官ハ獨斷以テ追撃ニ前進スルコトアルモ敵ノ後衛又ハ收容隊ニ遭遇センカ多大ノ損害ヲ受ケ爲メニ一時其前進ヲ躊躇スルニ至リ傍ラ孤立突進ノ危險ヲ思ヒ他隊ノ來著ヲ待テ之ヲ攻撃セントシ不知不識其追撃ヲ遲緩スルニ至ルモノトス

然レトモ追撃部隊カ混亂セル敵ニ追及シタルカ如キ場合ニ於テハ寧ロ自己ノ危險ノ如キハ顧慮スルコトナク猛烈果敢ニ之ヲ攻撃

シテ敵ヲ抑留シ以テ友軍部隊ノ來著ヲ待チテ敵ノ主力ヲシテ餘儀ナク再ヒ我ニ對シ停止正面スルニ至ラシムルヲ要ス是レ追撃ノ要義ナリ此際敵火ノ正面ヲ避ケ側方ヨリ之ヲ壓迫スルハ特ニ必要ナリトス

五、土地ノ景況ト追撃トノ關係

戰場ニシテ交通機關發達シ土地豐饒ニシテ物資ノ調達意ノ如クナル時ハ追撃ハ比較的容易ナリト雖モ吾人豫想戰場ノ如ク土地不毛ニシテ廣漠タル原野ニ僅ニ數條ノ鐵路ヲ有シ道路ノ如キモ全ク性能ヲ缺ク狀況ニアリテハ補給ノ關係ヨリ其追撃ハ大ナル制限ヲ蒙ルモノトス日露戰ノ經驗ハ明カニ之ヲ證セリ

其他追撃地帯ニ於ケル地障ノ有無モ亦追撃ニ大ナル關係ヲ有スルモノニシテ例ヘハ我前進路ニ横ハル山脈、河川等アル時ハ敵ニ離隔ノ便ヲ與フルコト大ナリトス故ニ斯ル地障ハ宜シク敵ヲシテ之

ヲ利用シ得サラシムル如ク猛烈果敢ニ追撃シ以テ其以前ニ於テ敵ヲ殲滅スルカ遅クモ敵ヲ此河川等ニ陥擠スルカ如ク追撃スルヲ要ス

六、天候時刻ノ關係ト追撃

近寒炎熱ハ行軍ニ滯滞缺員ヲ來シ從テ追撃ニ大ナル困難ヲ及ホスモノトス殊ニ晝夜連續セル戦闘後ニ於テ猛烈ニ敵ヲ追撃セントスル際ニ於テハ其困難ハ殊ニ甚シトス是レ近寒ノ時ハ爲メニ凍死者ヲ出シ炎熱ノ時ハ喝病ヲ生スルヲ以テナリ其他雨雪大風砂塵ヲ捲ク等ノ時ニ於テモ追撃ノ遲緩スルコト甚シキモノトス

就中敵ヲシテ容易ニ戰場ヲ離脱シ得セシムルモノハ夜暗ナリトス日露戰役ノ各會戰ニ於テ我軍ノ追撃大ニ遲緩シ常ニ敵ヲ逸セシハ敵ノ夜間退却極メテ巧妙ナリシニ起因セスンハアラス火器ノ進歩ハ益々戰鬪ニ柔軟性ヲ附與スルヲ以テ將來夜暗ヲ利用スルノ退却

ハ益々増加スヘク否極力夜ヲ待ツニアラスンハ白晝ノ退却ハ全滅ニ陥ルヲ免レサラン

夜暗ヲ利用レ退却スルニ方リテハ防者ハ之ヲ秘匿スル爲メ概シテ左ノ處置ニ出ルヲ常トス

(1)、歩哨斥候等ヲ殊更増加シ我第一線ヲ騷カシ或ハ夜襲ノ狀ヲ示ス

(2)、各方面ヨリ一部ノ夜襲ヲ行フ

(3)、現狀維持ヲ裝フ爲メ第一線ニハ依然少數ナル部隊ヲ舊陣地ニ殘置ス

(4)、騎兵ヲ以テ第一線ヲ交代シ步兵ヲシテ先ツ退却セシム
之カ爲メ攻者ハ敵兵依然トシテ現存スルモノトシ或ハ惡戰苦闘ノ後夜ニ入リタルカ如キ狀況ニ於テハ敵ノ悲境我ヨリ大ナルニ氣著カス唯徒ラニ現狀ヲ維持スルニ汲々トシ敵一部ノ夜襲ニ

會スルモ直ニ眞面目ノ攻撃ナリト誤信シテ自然受働的ニ陥リ遂ニ翌拂曉ニ至リ始メテ敵ノ退却ヲ知ルカ如キニ至ルモノトス假令果敢ナル攻者ニシテ敵ノ夜間退却ヲ察知シ直ニ追撃ニ移ルモ敵一部ノ爲メ所々ニ阻止セラレ其間多大ノ混亂ト時間トヲ費ヤシ遂ニ機ヲ失スルニ至ルモノトス地形險惡ナルニ於テ特ニ然リ

第三 各部隊ノ行フ追撃

突撃功ヲ奏シ敵陣ヲ奪取セハ各部隊ハ直ニ追撃射撃ヲ行ヒ其有効射撃界ヲ脱セントセハ各隊長ハ直ニ其隊ヲ提ケテ追撃前進ニ移リ敵ヲシテ再ヒ集合シ若クハ縦隊ヲ編組スルノ違ナカラシムヘシ此際敵ノ收容陣地等ニ衝突セハ躊躇スルコトナク之ヲ攻撃シ以テ他ノ友軍ヲシテ之ニ關スルコトナク其背後ニ進出セシムルニ勉ムヘシ
騎兵ハ其性能上殊ニ追撃ニ適スルノ兵種ニシテ其猛烈果敢ナル行動ハ

時ニ著大ノ功ヲ奏スルモノトス故ニ戰鬪將ニ局ヲ結ハントスルヤ騎兵隊長ハ迅速ニ前面ニ進出シ追撃ノ準備ヲ爲シアルヲ要ス而シテ一度其好機ニ接セハ全力ヲ擧テ追撃ニ移リ側方爲シ得レハ背後ヨリ敵ヲ壓迫シ其行進ヲ遲滯セシメ以テ友軍歩兵ヲシテ追及ノ便ヲ得セシムヘシ此際騎砲兵ハ其迅速ナル歩度ヲ利用シ側方ヨリ不意ニ敵ヲ射撃スル時ハ其効果更ニ大ナルモノアリトス若地形上全兵力ヲ統一シテ追撃ヲ行フヲ得サル時ハ騎兵指揮官ハ一般ノ目的ヲ示シ各部隊ヲシテ各個ニ追撃ヲ行ハシムルヲ可トス

追撃ニ於テ砲兵ノ迅速ナル運動威力アル射撃ハ有形無形上多大ノ効果ヲ得ヘキモノニシテ敵兵一度其有効射界ヲ脱スルヤ直ニ前方ニ進出シ神速ニ射撃ヲ開始シ敵ノ再ヒ集合シ若クハ停止スルヲ妨害シ且隘路橋梁等敵ノ蟄集スヘキ地點ヲ猛射シ尙ホ射距離ヲ延伸シテ敵縦隊ノ先頭ヲ射撃シ先ツ此部ヨリ潰亂ニ陥ラシムルヲ勉ムヘシ

以上ノ如クシテ各兵種各部隊舉テ展開追撃ニ任スル時ハ多クハ敵ノ大部ヲシテ其戰鬥力ヲ消耗スルニ至ラシムルモノトス是レ縦隊追撃ニ移ルノ時期ニ於テハ再ヒ敵ニ強壓ヲ加フルコト通常困難ナレハナリ

第四 縦隊追撃

高級指揮官已ニ戰勝ヲ豫期シ得ルニ至レハ追撃ニ關スル諸準備(彈藥ノ補充、後方機關ノ整理、前進)ヲ爲シ一度敵ヲ擊破セハ直ニ騎兵及追撃隊ヲ放進シテ之ヲ窮追セシムルト同時ニ各部隊ニ其展開追撃ノ爲メ前進スヘキ地境及其停止ノ線ヲ示シ若諸隊ニシテ既ニ追撃ニ移リツツアルニ際シテハ其一先ツ停止スヘキ地點ヲ指示シ以テ縦隊追撃ニ移ルノ準備ヲ爲サシム

追撃隊ニハ新銳ナル部隊ヲ以テ任スルハ理想ナルモ是レ殆ント不可能ナルヲ以テ比較的集結シ進出ニ便ナル部隊ヲ以テ編組スルヲ可トス而シ

テ之ニ配屬スル騎兵、砲兵等ハ成ル可ク大ナルヲ希望スト雖モ之カ爲メ多大ノ時間ヲ費スハ好ム所ニアラス要スレハ後方ヨリ追及セシムルモ可ナリ工兵モ亦緊要ニシテ追撃ニ方リ常ニ遭遇スヘキ道路ノ阻絶、橋梁ノ破壞等ヲ修理シ其進路ヲ開設スル等其要務甚々大ナリトス

各部隊已ニ展開追撃ヲ終リ隊伍ノ整頓、秩序ノ恢復、彈藥、糧秣ノ補充等ヲ完了セハ勉メテ速ニ縦隊追撃ニ移ラシムルヲ要ス此際數縦隊ト爲シ敵ニ對シ併行追撃ヲ爲スハ特ニ必要ニシテ各縦隊ハ絶エス敵ノ側方前ニ溢出シ之ヲ捕フルヲ努ムヘシ各縦隊ニ其進路ヲ示スヘキヤ將又前進地境ヲ示スヘキヤハ主トシテ兵力、地形ニ關スルモノトス要ハ至當ナル廣正面ヲ以テ敵ヲ溢出的ニ追撃スルニアリ但此際注意スヘキハ過度ニ正面ヲ大ニシ其兵力ヲ分離スル時ハ却テ敵ノ爲メ乗セララル所トナリ各個ニ擊破セララルニ至ルモノトス最近歐洲戰ニ於テ之カ好例ハ一九一四年十二月初旬ニ於ケル塞軍ノ行動ナリトス是ヨリ先塙軍ハ獨軍ノ援助ヲ得テ塞國ヲ根

概ヨリ覆サントシ逐次兵力ヲ増加シテ「ベルグラード」ヲ攻撃シ遂ニ十一月二十九日ニ至リ塞國ノ首府ハ埃軍ノ占領スル所トナレリ此ニ於テ塞軍ハ一時「モラワ」河ノ線ニ退却セシカ埃軍ノ追撃廣正面ニ分散シタルニ乘シ決然攻勢ニ轉シ到ル所埃軍ヲ撃破シテ十二月中旬遂ニ首都ヲ奪還シ更ニ敵ヲ壓迫シテ全ク之ヲ國境外ニ驅逐セリ

第二節 退却

第一 退却戰鬪指揮ノ要領

退却戰鬪指揮ノ要ハ速ニ戰鬪ヲ脱シ敵ト離隔シ行軍縱隊ヲ整へ後衛ヲ備フルニアリ故ニ戰鬪ノ經過不利ナル時ハ高級指揮官ハ決戰ヲ以テ之ヲ挽回スヘキカ又ハ戰鬪ヲ斷念スヘキカヲ適宜ノ時機ニ決定シ其一度退却ニ決心セハ直ニ所要ノ區處ヲ爲シ敵トノ離隔ヲ速カナラシムルヲ要ス凡ソ退却ハ戰線ニ展開セル兵力ノ寡少ナルニ從ヒ比較的容易ニ施行シ

得ヘク之ニ反シ歩兵ノ大部既ニ交戰中ナルトキハ甚タ困難ナリトス殊ニ其豫備隊ヲモ使用シ盡シ全ク控置セル部隊ナキカ如キ狀況ニ於テハ最も危険ナリ殊ニ敵ヨリ撃退セラレタル時ノ如キニアリテハ唯現在ノ隊形ヲ以テ正面ト直角ノ方向ニ退却シ得ルノミニシテ地形又ハ他隊ノ掩護アルニアラサレハ再ヒ集合又ハ抵抗ヲ試ムルコト困難ナリトス故ニ狀況斯ノ如キニ於テハ寧ロ萬難ヲ排シ日沒迄現位置ヲ固守シ夜暗ヲ利用シ退却スルヲ有利ナリトス火器ノ進歩ハ戰鬪ヲ柔軟ニシ能ク此企圖ヲ達セシムルモノナリ然レトモ決戰ヲ爲スヘキ任務ヲ有スル軍隊ニシテ退却ヲ願慮シ豫備ノ一部ヲ控置スルカ如キハ極メテ大ナル過失ナリトス又如何ナル場合ニ在リテモ一度退却ニ決セル軍隊カ收容隊ヲ援助スル爲メ無益ニ停止スルハ勉メテ避クヘキコトニシテ單ニ敵トノ離隔ヲ一層困難ナラシムルノミナラス時トシテハ之カ爲メ大ナル危険ニ陥ルコトアレハナリ

一、高級指揮官

高級指揮官退却ニ決セハ軍隊通過ノ自由ヲ得ンカ爲メ行李、輜重ヲシテ先ツ速カニ妨害トナラサル地點ニ退却セシメ次ニ行軍縱隊ニ就キ得ルノ便ト敵ノ側面脅威ニ應スル爲メ成ルヘク數縱隊トナリテ併進スヘキ處置ヲ定メ且明確ニ行進目標ヲ指示シ收容部隊及收容陣地ヲ命シ退却ノ實行ヲ確認シタル後適宜ノ地ニ先行シ退却シ來ル軍隊ヲ待チ更ニ爾後ノ處置ヲ爲スヘキモノトス

此際行進目標ヲ明示スルハ極メテ必要ノコトニシテ通常第一線ノ退却ハ多クハ分散セル部隊カ比較的連繫ヲ失シアル状態ナルヲ以テ之ヲ良好ニ統一的ニ集合セシムル爲メニハ唯行進目標即チ第一ノ退却目標ノ指示ニアルノミナレハナリ

而シテ此目標ハ概ネ最初ニ集合シテ出發スヘキ地點即チ收容陣地ノ後方ニ指定セラルルモノトス然レトモ近距離ニ於テ更ニ陣地ヲ占

メントスル時ハ其線ヲ示スヲ便ナリトス此場合ニ在リテハ行進目標ト指揮官ノ企圖セル退却目標トハ自ラ合一スルニ至ルヘシ又直後ニ河川等ノ障礙アル時ハ先ツ此地障ノ後方ニ行進目標即チ第一ノ退却目標ヲ選定セラルルコトアリトス

退却命令ノ交付ハ通常 一、收容隊 二、衛生機關、大行李、輜重 三、第一線部隊ノ順序ヲ可トス是レ行李、輜重ノ如ク退却軍隊ノ妨害トナルモノハ速ニ之ヲ後方安全ノ地ニ退クルノ必要アリト雖モ命令ヲ與フルノ順序ハ必スシモ常ニ然ラス若其位置遙ニ後方ニシテ收容ニ關スル處置ヲ命シタル後傳騎ヲ派シ尙能ク戰鬪部隊ノ退却シ來ル迄ニ現在地ヲ去リ退却ニ就キ得ル狀況ニ在リテハ先ツ戰場ノ始末ヲ前ニスルヲ可トスレハナリ要ハ狀況ニ應シ其退却ヲ圓滑ナラシムルニアリ其他ノコトハ總テ下級指揮官ノ任トスル所ニシテ各部隊長ハ相互ニ能ク戰況ヲ洞察シ協力一致シテ巧ミニ敵ヨリ離脱スルヲ要ス

二、各縦隊指揮官

數縦隊トナリタル時ニ在リテハ各縦隊ノ指揮官モ亦最初ノ退却部
署ヲ決定シ其實行ヲ確認シタル後ニ於テ爾後ノ處置ヲ準備センカ爲
メ通常戦闘地ヲ去ルモノトス而シテ其戰場離脱ノ方法ニ至リテハ次
節ニ説ク所アラントス

第二 戰場離脱

一、第一線ノ退却

戰場ヲ離脱スル爲メニハ敵ノ攻撃最モ激烈ナル所ニ於テ最モ永ク抵
抗スルヲ原則トス即チ比較的敵ニ接近セル部隊ノ犠牲的抗拒ニ依リ他
方面ノ部隊ノ退却ヲ掩護セシムルモノトス是レ若接近部隊ヲシテ先ツ
退却セシムル時ハ此方面ノ敵ハ直ニ尾撃シテ前進スヘキカ故ニ自ラ全
體ノ退却動作ヲ危険ナラシムレハナリ然レトモ斯ノ如クスル時ハ此部

隊ハ多クハ敵ノ壓迫ヲ蒙リ他隊ノ爲メ其犠牲トナルヘキ恐アルモノト
ス故ニ狀況之ヲ許ス時ハ各部隊ニ各個ノ退路ヲ指示シ勉メテ同時ニ退
却セシムルヲ可トス

其他第一線退却ノ順序ハ退路ト大ナル關係ヲ有ス即チ退路陣地ノ正
面ト斜交スル時ハ先ツ退路ニ遠キ翼ヨリ退却セシメ順次之ニ近キ翼ニ
及ホスヲ可トス然ラサレハ直ニ敵ノ爲メ退路ヲ遮斷セラレ其大部ハ所
望ノ方向ニ退却シ得サルニ至ルヘシ

而シテ各部隊各自ニ收容隊ヲ設ケテ退却セサルヲ得サルカ如キ狀況
ニ在リテハ第一線諸隊ノ退却ハ概ネ該收容陣地ノ占領ヲ終リ確實ニ收
容シ得ルノ時期ニ至リ始メテ實行スルヲ要ス

二、第一線部隊各自ノ收容

戰場ヲ離脱セントスル各部隊ハ亦要スレハ縦長ニ於ケル自己ノ兵力
ヲ以テ前線ヲ收容ス然レトモ無用ニ之ヲ配置シ又ハ收容隊カ無益ノ戰

闘ヲ求ムルカ如キハ嚴禁トス是レ徒ラニ敵トノ離脱ヲ困難ナラシムルモノナレハナリ

收容隊ハ寡少ノ兵ヲ以テ優勢ナル敵ニ對抗セサルヘカラス從テ其占ムヘキ陣地ハ大ニ堅固ナルヲ要スト雖モ退却スル部隊ヲシテ潰亂ニ陥ラシメサル爲メニハ速ク收容ニ著手セサルヘカラサルヲ以テ成ル可ク戦線ニ近ク選定シ陣地ノ占領亦迅速ニシテ時機ニ適スルヲ必要トス而シテ其第一線ト相距ル距離ノ如キハ固ヨリ狀況、地形、部隊ノ大小等ニ依リ一定スヘキモノニアラスト雖モ其理想トスル性能ハ概シテ左ノ如シ

一、敵ヲシテ重ネテ一新戰場ヲ通過セサルヲ得サラシムルコト是レ敵ヲシテ我第一線ト收容陣地トヲ一舉ニ突破シ得サラシメンカ爲メナリ

二、退却スル友軍ヲ潰亂ニ陥ラシメサルヲ要ス之カ爲メニハ過度ニ遠キハ不可ナリ

三、收容隊モ亦早晚敵ヨリ免レテ退却スヘキモノナレハ爾後ノ退却ノ便ヲモ願慮スルヲ要ス

四、敵ノ攻撃翼ニ接近シ且退路ノ側方ニアリテ我退却スル部隊ノ正面ヲ避ケ最初ヨリ有效ナル火力ヲ敵ニ及ホシ得ルヲ可トス故ニ第一線ノ後方近距離ニアル高地ノ如キハ此主旨ニ依リ好ンテ採用スヘキモノナリトス

然レトモ強大ナル部隊ノ爲メニハ斯ノ如キ一側ノ陣地ヲ得ルコト困難ナルヲ以テ多クハ諸所ニ之ヲ設ケ其中間ヲ濾過シテ軍隊ヲ退却セシムルニ至ルモノトス

其他我企圖ヲ秘匿センカ爲メ時トシテ一部ノ猛烈果敢ナル逆襲ヲ行ヒ其機ヲ利用シ敵ト離隔ヲ計ルコトアリ

軍隊既ニ後方部隊ヲ存セサルカ又ハ敵ニ撃退セラレタル時ハ歩兵ハ唯現在ノ隊形ヲ以テ正面ト直角ノ方向ニ退却シ得ルノミ此際砲兵及機

關銃ハ損害ヲ顧ミルコトナク敵ノ追撃歩兵ヲ射撃シ以テ我歩兵ヲシテ敵ト離隔セシムルコトニ努力スヘシ騎兵モ亦果敢ナル動作ニ依リ危地ニ瀕セル友軍ヲ救助スルノ義務アルモノトス

第三 全隊ノ收容

一、收容隊ノ兵力編組

全隊ノ收容隊トナルヘキ部隊ハ第一線ニ關係ナク直ニ其任務ニ服シ得ルヲ以テ最モ理想ナリトス故ニ未タ戰線ニ使用セサル新銳ノ部隊ヲ以テ之ニ充ツルヲ得ハ甚タ有利ナリトス

然レトモ戰況ニ依リテハ已ニ此歩兵豫備隊スラ之ヲ有セサル場合ニ於テ收容隊ヲ設クルヲ要スルコトアルヘシ然ル時ハ勢ヒ既ニ交戰中ノ部隊ヲ以テ之ニ充テサルヘカラス此際注意スヘキハ之ニ使用スヘキ部隊ハ比較的集結シテ退却ニ便ニ且收容陣地ニ就クニ便利ナルモノヲ以

テスルノ一事ナリ

收容隊ノ任務ハ退却スル軍隊ヲシテ其掩護下ニ集合シ且出發シ得セシメサルヘカラス從テ其戰鬪ハ純然タル持久戰ニ屬ス故ニ敵ヲ遠距離ニ支持シ且戰鬪ノ離脱ニ比較的容易ナル砲兵ノ多キヲ必要トスルハ明カナルモ而カモ決意前進スル敵ノ眞面目ナル攻撃ヲ受クルニ於テハ之ニ對シテ任務ノ達成上又韌強ナル戰鬪ヲ要求スルニ至ルヘシ是レ歩兵及機關銃ヲ必要トスル所以ニシテ就中機關銃ハ小數ト雖モ其威力大ニシテ而カモ行動ノ自由大ナルニ依リ特ニ稱揚セララルモノトス其他砲兵ノ陣地進入ヲ援助シ要スレハ爾後ノ使用ニ供スル爲メ工兵ノ一部ヲ之ニ附スルコトアリ

然レトモ又收容隊ハ其時ノ狀況ニ依リ到底希望ノ如ク編組スルヲ得サルコトアリ然ル時ハ退却戰鬪指揮中ニ於テ必要ニ應シ先ツ退却シタル部隊ヲ以テ之ヲ増補セサルヘカラサルコトアルモノトス

二、全隊ノ爲メノ收容陣地

收容陣地ハ一般ノ狀況ヲ顧慮シテ之ヲ選ヒ以テ退却スル軍隊ヲ其掩護下ニ集合シ且出發シ得セシメサルヘカラス從テ左ノ諸件ヲ要求ス

一、地形堅固ニシテ優勢ナル敵ニ對シ某時期間能ク之ヲ支持シ得サルヘカラス然レトモ極端ニ堅固ナル時ハ敵ハ之ニ顧慮スルコトナク追撃ヲ自由ナラシメ得ルヲ以テ要スレハ出撃シ得ルノ餘裕ヲ有セサルヘカラス

二、遠距離ヨリ有效ナル火力ヲ發揚シ得サルヘカラス

三、各部隊ノ退却ヲ妨害セサルヲ要ス

四、爾後ノ退却便ナルコト

之カ爲メ小部隊ニアリテハ第一線各部隊ノ收容陣地ト大差ナキモ部隊ノ大ナルニ從ヒ其位置ヲ異ニスルニ至ルヘシ何トナレハ第一線ニ近接スル時ハ各部隊ノ收容隊ヲ收容スルコト殆ト困難ニシテ又側方ニ偏

スレハ到底大正面ヲ以テ退却スル全隊ヲ其射撃下ニ收容スルコト能ハサルハナリ故ヲ以テ大部隊ニ於ケル全隊ノ收容陣地ハ通常戰鬪線ノ中央後ニシテ扇子ノ要部ニ相當スル所ナリトス

然レトモ收容陣地ハ常ニ前方ニノミ顧慮シテ定メ得ヘキモノニアラス既ニ述ヘタルカ如ク此陣地ハ我全隊ノ集合、出發ヲ掩護セサルヘカラスナルニ依リ後方ノ地形一隘路ヲ形成スルカ如キ狀況ニ於テハ其隘路前ニ陣地ヲ選定セサルヘカラス然ル時ハ其後方ニ有スル地積ハ集合部隊ノ大小、出發及隘路通過ノ時間等ニ依リ異ナルモ成ル可ク大ニシテ充分ナル餘裕ヲ有シ集合地及隘路口ニ敵彈ヲ蒙ルコトナキヲ要ス

三、收容戰ノ要領

收容戰ハ全ク一ノ持久戰ニ屬ス而シテ此種戰法ニ關シテハ後章ニ詳述スル所アラシモノ來テ持久戰ハ千態萬狀ニシテ動モスレハ誤解ヲ來シ易キヲ以テ一言茲ニ收容戰ノ本義ニ關シ述フル所アラントス

抑、收容隊ノ任務ハ前已ニ述ヘタルカ如ク其掩護下ニ退却軍隊ヲ集合シ且出發セシムルニアリ故ニ戰勝ノ餘威ニ乘シ前面、側面ニ溢出スル優勢ナル敵ニ對シ如上ノ目的ヲ達セントセハ勢ヒ全力展開ノ餘儀ナキニ至ルヲ自然トシ總兵力ヲ擧テ第一線火力ノ發揚ニ勉メサルヘカラス唯此際收容隊モ亦自己戰鬪ノ破綻ヲ補綴シ爾後ノ退却等ヲ顧慮シ若干ノ豫備ヲ具フルハ敢テ忌避スル所ニアラス

第四 夜間退却

現時ニ於ケル火器ノ進歩ハ晝間退却ヲシテ著シク困難ナラシメタルコト前已ニ述フル所ノ如クニシテ一度戰勢不利ニ陥リタル軍隊ハ其後方部隊ノ有無如何ニ關セス晝ノ退却ハ全ク殲滅ニ陥ルニ等シク大損害ヲ受ルニアラサレハ到底其實行不可能ナリトス故ニ退却ノ開始ハ宜シク夜暗ヲ待テ行フヲ可トスヘク又一方火器ノ進歩ハ戰鬪ニ柔軟ノ性ヲ附與セシ

コト甚タ大ナルヲ以テ假令戰況不利ニ傾クモ尙能ク夜暗ニ至ル迄其位置ヲ保持シ得ルモノトス故ニ將來ノ會戰ハ退却、追撃共ニ夜暗ヲ利用スルニ至ルヘク此ニ於テカ其研究モ亦晝間ノモノニ比シ更ニ一層ノ價值ヲ有スルニ至レリト謂フヘシ

夜間退却ニ於テ特ニ講究スヘキハ概シテ左ノ三項トス

- 一、退却時期ノ選定
 - 二、收容ノ手段
 - 三、集合ノ方法
- 以下逐次之カ研究ヲ試ミントス

一、退却時期ノ選定

夜間ニ於テ退却時期ノ決定ハ退却命令ノ傳達ニ要スル時間ト更ニ占ムヘキ陣地ニ到ル距離トニ關ス近ク敵ト相接觸シ夜暗ニ入ルト同時ニ敵ノ夜襲ヲ受ルカ如キ恐アルニ於テハ日没ト同時ニ其運動ヲ開

始セサルヘカラスト雖モ斯ノ如キカ爲メニハ少クモ日没前已ニ退却ニ關スル命令ノ傳達ヲ完了シ其後方輻重行李(要スレハ砲兵等モ)ノ如キハ日中既ニ退却ニ移リツツアラサルヘカラス然ルニ現時ノ如キ航空機ノ偵察進歩セルノ時代ニ於テハ此運動ハ直ニ敵ニ察知セラレ却テ退却ノ開始ヲ敵ニ豫報スルニ等シカルヘシ故ニ天候其他ノ關係ニ依リ敵ノ偵察機能其用ヲ爲ササルカ如キ特異ノ場合ニアラサレハ第一線主力ノ退却ハ少クモ日没後數時間ヲ經ルニアラサレハ能ハサルモノトス

又夜間ニ於ケル命令ノ傳達ハ豫想外ニ多クノ時間ヲ要スルモノニシテ之ヲ日露戰役ノ經驗ニ徵スルニ退却若クハ追撃ニ關スル軍命令ノ出テシヨリ第一線部隊ノ實行ニ移ル迄ニハ多キハ七、八時間少ナキモ五、六時間ヲ經過シアリ近時通信機關ノ發達ニ從ヒ漸次此時間ハ短縮セラレツツアリト雖モ尙川越附近ノ大演習ニ於テ軍命令ノ實施迄

ニ約七時間ヲ要シ大正三年京阪附近ノ大演習ニ於テモ優ニ四、五時間ヲ費セリ故ニ此關係ヨリスルモ日没ヲ待テ直ニ第一線ヲ撤退スルカ如キハ殆ト不可能ナリトス

退却時期ノ選定ハ又爾後ニ於ケル新陣地ト大ナル關係ヲ有ス要ハ該陣地ニ到達セハ時已ニ拂曉ナル如クスルヲ可トス之カ爲メ其退却距離ノ長短ニ依リ時期ノ選定亦自ラ定マルモノトス

二、收容ノ手段

夜間ノ退却ハ第一線ニ殘置セル一部ヲ以テスルヲ原則トス是レ後方ニ收容隊ヲ設ケ全隊ノ收容ヲ爲サント欲スルモ夜間ハ遠ク火力ヲ以テ制壓スルコト能ハサルヲ以テ正面ノ敵ハ或ハ之ヲ防止シ得ンモ側方ヲ通過スル敵ニ對シテハ何等其追撃ヲ遲滯セシムルヲ得ス加之斯ノ如キハ却テ退却スル友軍ト敵トノ判別ニ苦ミ志氣沮喪セル結果ハ遂ニ悲惨ナル同志討ヲ演スルニ至ルヘシ

又追撃スル勝者ト雖モ夜間ノ常トシテ道路外ノ運動ハ殆ト行フコト能ハサルノミナラス一度敵ニ衝突スルニ於テハ縦ヒ現時ノ守備兵如何ニ微弱ナルモ通常大混亂ヲ生シ一時全ク指揮ノ統一ヲ缺キ更ニ隊伍ヲ整頓シテ追撃ニ移ルカ爲メニハ通常大ナル時間ヲ要スルモノトス故ニ多クノ場合別ニ晝間ノ如ク收容隊ヲ設クルコトナク第一線ノ各部ニ微弱ナル一部ヲ殘置シ敵トノ觸接ヲ絶ツニ至ルモノトス而シテ其殘置スヘキ部隊ハ概ネ中隊毎ニ一部隊ヲ充ツルヲ有利トス是レ夜間ニ至リ更ニ配備ヲ變更スル害ナク全線略同ナル守備線ヲ形成シ得レハナリ而シテ此等殘置部隊ハ統一セル一指揮官ノ指揮ニ附セサルヲ本則トス是レ實行全ク不可能ナレハナリ戰場ノ廣大ナルト地形錯雜ナルトキニ於テ益然リ

若敵ノ攻撃猛烈ニシテ日沒直ニ夜襲ヲ受ルカ如キ狀況ニ於テハ寧ロ勇敢ナル小數ノ部隊ヲ以テ敵ノ全正面ニ對シ猛烈間斷ナキ夜襲ヲ

實施シ自ラ優先ヲ制シ以テ敵ノ企圖ヲ挫折セシムルヲ要ス

茲ニ注意スヘキハ拂曉以後ニ於ケル敵ノ追撃及我退却ノ狀況ヲ顧慮シ若クハ陣地占領ヲ掩護スル目的等ヲ以テ後衛ヲシテ有利ノ地點ニ一時陣地ヲ占領セシムルコトアリ然レトモ之ヲ以テ夜間ノ收容ト同一視スルハ彼此相混同セルモノニシテ誤解ノ大ナルモノナリトス

三、集合ノ方法

夜間退却ニ於テモ亦一時一地區(必シモ一地ノ意味ニアラス)ニ集合セシムルハ勿論ナリト雖モ其戰線ヲ距ル集合地ノ距離ハ晝間ニ比スレハ近キヲ可トス是レ敵火ノ追撃ヲ受ルコト絶無ナレハナリ然リト雖モ亦餘リニ近接ニ過キサルヲ要ス何トナレハ未タ各隊ノ集結終ラサルニ早ク既ニ全隊ノ集合地ニ到達スルノ恐アレハナリ而シテ此等集合地點ハ特ニ明確ナル目標ヲ指示シテ命スヘク又爾後ノ縱隊退却モ勉メテ一縱隊ナラサルヲ可トス然レトモ不良ノ道路ニ迄縱隊ヲ分

第四章 追撃及退却 第二節 退却
割スルハ却テ退却ヲ遲緩セシムルモノトス是レ夜間ニ於テハ僅少ノ
障碍モ其行進ヲ阻害スルコト頗ル大ナレハナリ

二八二

戰略及戰術 第一卷 終

大正四年九月十五日印刷
大正四年九月十九日發行

戰略及戰術第一卷 附

(定價金九拾錢)



編輯者

宮本 治

印刷者

東京市赤坂區田町五丁目十一番地
山田 三 次 郎

印刷所

東京市赤坂區田町五丁目十一番地
山田 活 版 所

東京市麴町區平河町四丁目十一番地

發行所 宮本 武林 堂

振替口座東京一〇九二二番

電話番町五五一八番

陸軍士官學校校長 橋本勝太郎閣下序文
 陸軍士官學校教官 坂本政右衛門殿校閱
 陸軍士官學校教官 伊藤政之助殿講述

現地戰術

上下貳册 製本洋布製
 挿圖三百箇 紙數八百六十頁
 價貳圓 送料内地拾貳錢
 外地貳拾四錢

内 步、騎、砲、單兵種ノ戰闘
 追撃退却 夜間戰闘
 前哨 局地戰各種 諸偵察判斷ナラシム

宿 攻擊防禦各作業ニ挿圖(二百箇)
 營ヲ用ヒテ對照研究ニ便

本書ハ最近陸軍士官學校生徒ノ爲實施セラレタル現地戰術ノ輯録ナリ、
 其設想實際、指導適切、説明穩健、纂輯斬新ナル共ニ異色アリ。而シテ其
 說ク所時ニ精神の方面ヨリシ、或ハ教育上ノ見地ヨリシ、又ハ戰史ノ例證
 ヨリシ、乃至ハ常識ノ判斷ヨリシテ、推シテ戰術トノ調和ヲ律ス。
 乃チ戰術研究者及將校團教育並精神修養上無二ノ好參考書タリ。

陸軍士官學校將校集會所發行

取扱所 東京麴町區平河町四丁目 振替東京八五七一番 講 兵 堂

特約 東京麴町區平河町四丁目 振替東京八五七一番 本宮武林堂

關東都督男爵中村大將閣下題字
 關東都督府陸軍部參謀長西川少將閣下序文
 關東都督府陸軍部御編纂

東蒙古

紙數四百八十頁
 菊版洋布製美本
 寫眞版挿圖四十五頁
 彩色附圖大小八枚
 蒙古地圖壹枚
 價貳圓五拾錢
 送料内地貳拾錢
 外地貳拾貳錢

本書ハ我關東都督府カ、幾多専門ノ士ヲ派シテ多年滿
 蒙ヲ踏査研究セラレタルモノニシテ、地理、歴史、宗教、産業、人
 情、風俗ヨリ其他有ラユル方面ニ亘リテ精ヲ盡クシ密ヲ極メ、其
 記事ノ正確ニシテ内容ノ豊富ナル、恐ラク全蒙古ヲ一本ニ網
 羅シ得タルモノ本書ノ右ニ出ツルモノナシ、今ヤ日支交渉解決ヲ
 見ルノ時、允許ヲ得テ之ヲ世ニ公ニスルニ至レリ、政治家、經濟
 家以テ讀ムヘシ、軍人、志士以テ繙クベキ最良書ナリ。

發所 東京麴町區平河町四丁目 振替東京八五七一番 本宮武林堂

講兵會編輯

講兵

第一卷

(十二冊合本)

製本洋製春金文字

價 一圓四十錢

郵稅 內地十二錢
外地三十錢

本書ハ前後十二ヶ月ニ亘リ講兵指導各官ノ其懇切ナル指導ニ依リ全軍中最モ熱心ナル百數十名ノ答解者ガ、甲ハ熊本及久留米一帶ノ地方、乙ハ伊丹及茨木ヲ中心トスル地方ニ於テ甲、乙七想定二十四問題ニ對シ變化窮マリナキ攻防ノ術ヲ支隊ヲ用キテ圖上ニ於テ論難研鑽シタルモノニシテ、又難解若ハ誤解シ易キ原則ノ解説及有益ナル質議ノ應答ヲ掲載セリ、以テ應用戰術研究ノ爲メ絶好ノ資料ナリトス。乞フ一本ヲ座右ニ備ヘラレンコトヲ。

發行所 東京市東區平河町一丁目 本宮武林堂

T 氏 著

步兵中隊戰鬪教練

菊判洋布製
價 六拾錢
郵稅 八錢

總論—中隊戰鬪教練ノ根本義—計畫(計畫ノ素因。計畫ト實施ノ關係。教育量。使用時日。地形。空包。想定……)—實施(指導法。教練ノ活氣。射擊指揮。援隊)—講評—計畫實施ノ範例—結論—附表(中隊戰鬪教練ニ於テ教育スヘキ事項。第二期中隊戰鬪教練教育計畫表。同上細目教育計畫表)—引用附圖(青山、代々木練兵場五千分ノ一圖)

本書ハ教育家トシテ。戰術家トシテ。射擊家トシテ。且ツハ所謂精神家トシテ常ニ世人ノ。而シテ軍隊ノ模範テウ名聲ヲ恣ニセシT氏ノ著ニ係ル權威アル罕觀ノ一書ナリ。其説ク所ノモノ。中隊戰鬪教練ノ根本主義ヨリ其實施計畫ノ細目ニ至ル迄順ヲ逐ヒ序ヲ導ネ幾多ノ實驗ト統計トニ鑑ミ。解シ易ク且ツ直ニ實施シ得ル如ク懇篤細説到ラサルナシ。正ニ是レ大正現代ノ軍隊教育ニ向テ最モ大ナル光明タルト共ニ最モ新ラシキ指針タラスンハアラス。由來中隊教練ニ關スル著書尠シトセサルモ本書ノ如キハ蓋シ空前ト言フヲ憚ラス。是レ敢テ世ノ中隊教育ニ任スル各官ハ勿論中隊以上乃至中隊以下ノ教育ニ參スル諸官ノ爲ニ座右ノ珍トシテ特ニ推獎スル所ナリ。

發行所 東京市東區平河町一丁目 本宮武林堂

適確簡潔ヲ以テ稱揚セラレツ、在ル 『同志會著』

陣中要務詳解

全五册

總紙數千六百餘頁
菊版洋布製
每册價四圓貳拾五錢
內地郵稅每册八錢

第一卷 戰鬥序列、部隊間ノ連繫、通報々告

第二卷 搜索及諜報勤務、警戒勤務、行軍ノ警戒

第三卷 前哨

第四卷 宿營、行李、輜重、給養

第五卷 衛生、馬匹衛生、彈藥補充、通信、鐵道輸送、船舶輸送、兵站、憲兵、戰開詳報、陣中日誌、留守日誌

適確簡潔ノ世評高キ本書ハ陣中勤務ノ原理原則ノ詳解ヲ經トシ、改正ノ要點ニ對スル釋義ヲ緯ト爲シ、之ニ參スルニ史實的ノ例證ヲ以テシタルモノニシテ『講兵』統裁官協力ノ下ニ、同志會諸官ノ分擔執筆及分科專門ニ屬スル事項ハ悉ク其專門家ノ筆ニ成ルモノナリ。

發行所 東京 東區 平河町 四丁目 二番 宮本武林堂

世界萬國に比類なしと稱せらるゝ、『如風居士著』

戰史步兵操典證解

全三册

第一卷 綱領

第二卷 防禦

第三卷 夜戰、持久戰、山地、河川、森林、住民地ノ戰、他兵種ノ動作

總紙數千三百餘頁
菊版洋布製最美本
每册價四圓貳拾錢
內地郵稅每册八錢

我國否々世界軍學界に破天荒なる趣味津津々感興湧くが如き本書は、故乃本將軍が本書に題したる『くはし戈、ちたるのくにの、もの、ふの、あらみたまこそ、劍なりけれ』の精神を遺憾なく發揮したるものにして、操典の條項はこれあるが爲め頗る易解にして、且つ由來無味乾燥に陥り易き操典は、本書に依りて耽讀手を釋く能はざる好讀物と一變了れり、即ち其意義を講釋する爲めには、證解の如き刀亂麻を絶つ底の筆鋒を揮ひ、極めて平易簡明にして、之が註釋を施したる上、更に其理由を證解の爲めに内外古今多量の戰例就中日露の最新戰役を、最も多量に引用し、内外の戰史大案を下し、一見其原則の多量を網羅し、之が説明に唐宋諸家及我國志士烈婦等の詩歌、俳句の交へ、一層讀者の興味感激を甚深ならしめんと勉むるは、我が日本は勿論、大抵世界の萬國にも其比類を見ざる良著と稱するに躊躇せず、果ては獨力に酬むるべし、又支那は頃者本書を其教科書に充つるの目的を以て漢譯成れりとの通報を受く。以て本書の價値知るべし。

發行所 東京 東區 平河町 四丁目 二番 宮本武林堂

319
356

7

終